

第七十九回 帝國議會
衆議院

民法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第九回

昭和十七年二月十二日(木曜日)午前十時二
會議

本田ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

不動產登記法中改正法律案（政府提出 貴族院送付）

○野村委員長　開會致シマス——古島君
裁判所構成法 戰時特例案（政府提出、貴族院送付）
族院送付）
戦時民事特別法案（政府提出、貴族院送付）
戦時刑事特別法案（政府提出、貴族院送付）

出席國務大臣左ノ如シ	佐竹 晴記君	同月十二日青年禁酒法案（八木逸郎君外四名提出）ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ	松川 昌藏君	服部 英明君
出席政府委員左ノ如シ	司法大臣 岩村 通世君	北浦圭太郎君	一松 定吉君	古島 義英君
外務省條約局長	大蔵省主計局長 松本 俊一君	官ガ御答ヘニナツテ吳レレバ私ハ其ノ儘デ質問ヲ打止メルカモ分ラナイノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト、司法制度ノ改革問題ニ付テ、適當ナル時期ガ到來スレバ	岩村 通世君	古島 義英君
司法省次官	木内 四郎君	雄大ナル理想ヲ確立シタイト思フ、斯ウ申サレタノデアリマス、ソコデ私ハ其ノ雄大ナル御理想ヲ承ツテ、次官ガ確立セントスル其ノ雄大ナル御理想ノ御説明ガ願へ、満足致セバ、他ノ質問ハ一切止メテシマフ積リデアリマスカラ、ドウカ親切ニツ御願	大森 洪太君	古島 義英君
司法省民事局長	坂野 千里君	雄大ナル理想ヲ確立シタイト思フ、斯ウ申サレタノデアリマス、ソコデ私ハ其ノ雄大ナル御理想ヲ承ツテ、次官ガ確立セントスル其ノ雄大ナル御理想ノ御説明ガ願へ、満足致セバ、他ノ質問ハ一切止メテシマフ積リデアリマスカラ、ドウカ親切ニツ御願	克君	古島 義英君
司法省刑事局長	池田	雄大ナル理想ヲ確立シタイト思フ、斯ウ申サレタノデアリマス、ソコデ私ハ其ノ雄大ナル御理想ヲ承ツテ、次官ガ確立セントスル其ノ雄大ナル御理想ノ御説明ガ願へ、満足致セバ、他ノ質問ハ一切止メテシマフ積リデアリマスカラ、ドウカ親切ニツ御願	大森 洪太君	古島 義英君

合デアリマシテ、私共モ沟ニ生キ甲斐、働く
キ甲斐アルコトヲ感ジテ居ルノデアリマス、
實ニ結構ナ時代ニ司法報國ノ任ニ當ツテ居
ルノデアリマシテ、眞ニ有難イコトダト思
ツテ居リマス、占領地域モ段々ト擴大シテ
參リマセウカラ、其ノ方面ニ付テノ御奉公
モ十分ニ致サナケレバナラナイト思ツテ居
リマス、第三ニ御承知ノヤウニ今日ノ民事、
刑事ノ手續ニ於キマシテ、尙ホ不十分ナ點
ガ多々アルヤニ存ズルノデアリマス、是等
ニ付キマシテモ、私共種々考ヘテ居リマス
ルケレドモ、人員ノ問題、豫算ノ問題、種
種支障ガアツタノデアリマス、是等ハ適當
ノ時期ニ難關ヲ突破致シマシテ、サウシテ
十分皆様ノ御趣旨ニ副ヒタ、斯様ニ考へ

徹底のニヤルト云フコトデナクンバ本當ノ
仕事ハ出來ナイト思フ、例ヘテ申シマスル
ト、事件ガ延ビルト申シマシテモ、今日ノ
斯ウ云フ時代ニ於テ、當事者ニ任セテ、或
ハ延期ヲ自由ニスルトカ、或ハ當事者ガ裁
判所ニ出廷シナイトカ、若シクハ出廷シテ
モ辯論ヲシナクンバ之ヲ中止ニスルトカ、
アア云フ中止制度ナド云フコトヲ認メテ居
ル時代ニ於テハ、ドウシテモ事件ヲandonド
ン早ク解決スルコトハ出來ヌト思フノデア
リマス、寧ロ一步進メテ職權主義ヲ徹底サ
セルト云フ御考ヘガアルカドウカ承リタイ
○大森政府委員 御趣旨極メテ御尤モニ特ニ
聽シタノデアリマス、御指摘ノ通リニ特ニ
民事訴訟ニアリマンシテハ、今日當事者主義

付託議案（審査終了ノモノヲ除ク）不動産登記法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）（第七八號）
戦時ニ於ケル領事官ノ裁判ノ特例
ニ關スル法律案（政府提出、貴族院送付）（第八一號）
戦時民事特別法案（政府提出、貴族院送付）（第八二號）
戰時刑法（政府提出、貴族院送付）（第八三號）
裁判所構成法（政府提出、貴族院送付）（第八四號）

刑事裁判ノ實情ヲ見ルニ勾留訊問ニ引續キ直チニ公判ヲ開ク場合妙カラズ此ノ狀態ニテハ本法ニ依リテハ辯護人ヲ選任スル機會ナシ運用ニ付具體的方策ヲ示サレ度シ」
「ロ」ハ「司法警察官ノ搜查ニ於テ被疑者ヲ引致シタル後家族其ノ他トノ交通ヲ遮断シタル儘査ヲ繼續シ檢事局ニ送致公判請求セラレ辯護人選任ノ機會ヲ與ヘラレズシテ公判開始セラルル場合勘カラズ斯ル不都合ヲ生ゼザル様本刑事手續運用ノ具對策ヲ示サレ度シ」ト云フ御尋ネデゴザイマス、ソレニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、御趣旨ハ確力ニ了承致シマシタ、本法ノ運用ト致シマシテハ勾留訊問ト公判トノ間ニ適當ノ間隔ヲ設ケ、決シテ辯護人選任ノ機會ヲ失ハシメザルヤウ十分ノ努力ヲ致ス所存デアリマス

第六ノ御尋ネハ「區裁判所ニ於ケル審理特ニ刑事案件ニ付眞實發見誤審絶滅ノ爲親切丁寧ニ且辯解、舉證方法等ニ付特段ナル注意ヲ以テ善處スル様訓令又ハ司法官會同等ニ於テ注意ヲ爲ス意思アリヤ」ト云フ御尋ネデアリマスガ、御趣旨ハ全ク御同感デアリマシテ、訓令モ致シマセウシ、又司法官會同其ノ他凡ユル機會ヲ利用致シマステ、其ノ徹底ヲ圖ル覺悟デアリマス

第七ノ御尋ネハ「略式命令ニ對スル正式裁判ノ申立妨害又ハ申立アリタル場合之ガ取下ヲ勸告シ若ハ辯護權ノ制限ヲ爲スガ如キ事例アリ、斯ノ如キコトヲ絶滅スル様之ガ運用ニ付具體策ヲ示サレ度シ」ト云フ御尋ネデアツタ存ジマス、之ニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、是亦御趣旨ハ全ク御同感デアリマシテ、訓令モ致シマセウシ、又司法官會同其ノ他凡ユル機會ヲ利用致シマス

○岩村國務大臣 只今ノ大變重要ナ質問

第八ノ御質問ハ「第二十條但書ノ運用ニ付「已ムコトヲ得ザル事由」ト「許可」トノ點ニ付裁判ノ審理遲延ノ爲ナラズ又其ノ恐れナキ場合ニハ原則トシテ已ムコトヲ得ザル事由アリトシテ許可セラル様訓令又ハ司法官會同等ニテ明白ニスル意思ナキヤ」トス

云フ御質問デアツタト思ヒマス、之ニ對シテ御答ヘ申上ゲマス、全然御趣旨ノ通デアリマシテ、此ノ「已ムコトヲ得サル」ノ字句ハ決シテ狹義ニ解スベキモノデハナイノデアリマス、右立案ノ趣旨ハ是亦凡ユル機會ニ部内ニ十分ノ徹底ヲ圖ツテ參リタイト存ジマス、大體重要ナコトハ以上八項目デアリマスカト思ヒマス、是ハ是終リマシテ、又御質問ガゴザイマシタラ御答ヘ申上ゲマス

○内藤(正)委員 一寸今ノ御答辯ニ關聯シテ一言確カメテ置キタイ、ソレハ私言ウタト思ツテ居ルノデスガ、現在取調中ノ事件——マダ起訴サレテ居ナイ現在取調中ノ事件、警察若シクハ檢事ノ手許ニアルモノ、ソレ又御質問ガゴザイマシタラ御答ヘ申上ゲマス

○内藤(正)委員 之ニ付テハ國民全體ガ非常ニ關心ヲ持ツテ居リマスカラ、ソレニ對スル御答ヘラドウシテモハツキリシテ置カヌレバナラヌ、裁判所ト云フ文字ニ拘泥シテ、檢事局ノ手心デ二三ノ適用ヲ受ケルトレト今後起ルモノトハドウナルノカ、ソレシテ、檢事局ノ手心デ二三ノ適用ヲ受ケルト云フコトガ出來ル、是ハ何カノ機會ニ申上ゲタト思ヒマスガ、其ノ點ヲハツキリシテ置キタイ

○岩村國務大臣 ソコハ運用ニ依ツテ不公正ノ少イヤウニ處置スルヨリ仕方ガアリマヌガ、理論上恐ラクアナタノ仰シヤルヤウナコトガ起り得ルト思ヒマス

○内藤(正)委員 其ノ運用ニ遺憾ナキヲ期シタイト云フコトヲ速記錄ニハツキリシテ置キタイ

○岩村國務大臣 只今ノ各項ハ具體的ノヤウマス

○原物委員 只今ノ各項ハ具體的ノヤウマス

○岩村國務大臣 ソレダケハ聲明シテ置キ

○岩村國務大臣 只今ノ大變重要ナ質問

○野村委員長 ソレデハ此ノ點ハソレ位打切りマシテ、先ニ戻リマシテ古島君ノ御質問ヲ繼續致スコトニ致シマス

○古島委員 私ハ本案ニ付テ質問ヲ致シマスガ、時々懶ケマシテ出席シナカツタ時ガアリマス、ソコデモウ他ノ人達ニ御答ヘニナツテ居ル部分ガゴザイマシタナラバ、ソレハモウ答ヘタト云フヤウニ言ツテ戴ケバ、ソレデ結構デアリマス、急イデヤルト云ブコトハ、獨リ訴訟法バカリデハアリマセヌ、質問モ急イデヤラナケレバナラナイ時デアリスカラ、私モ急イデヤリタイト思ヒマス、司法大臣ガ本案ノ提出理由ヲ御説明ナサル時ニ、事件ヲ迅速且ツ妥當ニ解決スル爲ニ本案ヲ提出シタノダト云フ御演説ガアリマシタガ、ソレハ今マデノヤリ方ダト迅速デナク、非常ニ遅延スルト云フコトガ裏面ニ含ンデ居ルヤウデアリマス、且ツ妥當ニ解決スルト云フコトニナルト、ドウ思フノデスガ、ドウモサウ云フヤウニ耳ニ響クモノデアリマスカラ、ココデ一言伺ツテ置クノデスガ、從來ノ事件解決ガ洵ニ遅延シタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、ツタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、舉足ヲ取ルヤウニ聽カレマスト甚ダ迷惑ニモ今日マデ妥當ナラザル解決ガ行ハレテ居ツタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、

○古島委員 ドウモ官吏ノ方々ヲ向フニ置キマシテ官吏服務規律ノコトヲ鬼ヤ角申シテハ洵ニ恐入リマスガ、私ハ遲延スル大キナ原因ト申シマスト、ドウモ官吏服務規律ガ正確ニ行ハレテ居ナイ爲メデハナイカト云フ心配ヲ持ツテ居ルノデアリマス、殊ニ他ノ役所ト違ツテ、裁判所ノ職員ニ付テハサウ云フ風ナコトヲ間々耳ニスルノデゴザイマス、是ハ司法大臣ニ此ノコトヲ申上げテハ怒ラレルカ分ラヌノデスガ、今日住所ハ怒ラレルカコトデアリマス、併シ今御話ノアリマシタ通り、今日ハ隨分住居ガ拂底デアリマス、此ノ附近デ言ヘバ、東京カラ横濱へ轉勤ラシタト云フ場合ニ、横濱デ家ヲ探スト云フコトハ隨分困難ナ場合ガアリマス、サウ云フ場合ハ官吏服務規律ニ依ツテスル事例モアリマスルコトハ御指摘ノ通りデアリマシテ、左様ナ事例ハ決シテ少クナソレガ爲ニ御承知ノ民事訴訟法ニ準備手續ト云フ制度ヲ設ケマシテ、其ノ弊害ヲ除去又ハ緩和シタイト思ツタノデアリマスガ、直屬長官ノ憲力許可ヲ得レバ宜イヤウニナツテ居ル、恐ラク、ソレハ皆許可ヲ與ヘテアル筈デアリマス、無斷デ左様ナコトヲシテ居ル者ハナイト考ヘテ居リマス

○古島委員 定ニシサウデアリマセウ、又無許可デ外ノ所ニ居ル筈ハナイト思フ、次ニ付テハ、今回提案致シタヤウニ改正ラスル外致シ方ガナイト云フコトヲ申上ゲタ積モ、此ノ戰時下ニナリマスト特別ノ状態ニナリマスカラ、此ノ特別ノ状態下ニ於テ如何ニ事務ヲ適正、妥當、迅速ニ處理スルカニ付テハ、今回提案致シタヤウニ改正ラスル外致シ方ガナイト云フコトヲ申上ゲタ積モ、此ノ戰時下ニナリマスト特別ノ状態ニナリマスカラ、其ノ他ハ十一ツ早クヤル部ガアリマスガ、其ノ他ハ十一

スガ、ソレニハ色々ナ原因モアラウト思ビマス、ソレデ平時ニ於テ必ズシモ理想的ニアリマス、ソコデモウ他ノ人達ニ御答ヘニナツテ居ル部分ガゴザイマシタナラバ、ソレハモウ答ヘタト云フヤウニ言ツテ戴ケバ、ソレデ結構デアリマス、急イデヤルト云ブコトハ、獨リ訴訟法バカリデハアリマセヌ、質問モ急イデヤラナケレバナラナイ時デアリスカラ、私モ急イデヤリタイト思ヒマス、司法大臣ガ本案ノ提出理由ヲ御説明ナサル時ニ、事件ヲ迅速且ツ妥當ニ解決スル爲ニ本案ヲ提出シタノダト云フ御演説ガアリマシタガ、ソレハ今マデノヤリ方ダト迅速デナク、非常ニ遅延スルト云フコトガ裏面ニ含ンデ居ルヤウデアリマス、且ツ妥當ニ解決スルト云フコトニナルト、ドウ思フノデスガ、ドウモサウ云フヤウニ耳ニ響クモノデアリマスカラ、ココデ一言伺ツテ置クノデスガ、從來ノ事件解決ガ洵ニ遅延シタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、ツタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、

○古島委員 ドウモ官吏ノ方々ヲ向フニ置キマシテ官吏服務規律ノコトヲ鬼ヤ角申シテハ洵ニ恐入リマスガ、私ハ遲延スル大キナ原因ト申シマスト、ドウモ官吏服務規律ガ正確ニ行ハレテ居ナイ爲メデハナイカト云フ心配ヲ持ツテ居ルノデアリマス、殊ニ他ノ役所ト違ツテ、裁判所ノ職員ニ付テハサウ云フ風ナコトヲ間々耳ニスルノデゴザイマス、是ハ司法大臣ニ此ノコトヲ申上げテハ怒ラレルカ分ラヌノデスガ、今日住所ハ怒ラレルカコトデアリマス、併シ今御話ノアリマシタ通り、今日ハ隨分住居ガ拂底デアリマス、此ノ附近デ言ヘバ、東京カラ横濱へ轉勤ラシタト云フ場合ニ、横濱デ家ヲ探スト云フコトハ隨分困難ナ場合ガアリマス、サウ云フ場合ハ官吏服務規律ニ依ツテスル事例モアリマスルコトハ御指摘ノ通りデアリマシテ、左様ナ事例ハ決シテ少クナソレガ爲ニ御承知ノ民事訴訟法ニ準備手續ト云フ制度ヲ設ケマシテ、其ノ弊害ヲ除去又ハ緩和シタイト思ツタノデアリマスガ、直屬長官ノ憲力許可ヲ得レバ宜イヤウニナツテ居ル、恐ラク、ソレハ皆許可ヲ與ヘテアル筈デアリマス、無断デ左様ナコトヲシテ居ル者ハナイト考ヘテ居リマス

○古島委員 定ニシサウデアリマセウ、又無許可デ外ノ所ニ居ル筈ハナイト思フ、次ニ付テハ、今回提案致シタヤウニ改正ラスル外致シ方ガナイト云フコトヲ申上ゲタ積モ、此ノ戰時下ニナリマスト特別ノ状態ニナリマスカラ、此ノ特別ノ状態下ニ於テ如何ニ事務ヲ適正、妥當、迅速ニ處理スルカニ付テハ、今回提案致シタヤウニ改正ラスル外致シ方ガナイト云フコトヲ申上ゲタ積モ、此ノ戰時下ニナリマスト特別ノ状態ニナリマスカラ、其ノ他ハ十一ツ早クヤル部ガアリマスガ、其ノ他ハ十一

スガ、ソレニハ色々ナ原因モアラウト思ビマス、ソレデ平時ニ於テ必ズシモ理想的ニアリマス、ソコデモウ他ノ人達ニ御答ヘニナツテ居ル部分ガゴザイマシタナラバ、ソレハモウ答ヘタト云フヤウニ言ツテ戴ケバ、ソレデ結構デアリマス、急イデヤルト云ブコトハ、獨リ訴訟法バカリデハアリマセヌ、質問モ急イデヤラナケレバナラナイ時デアリスカラ、私モ急イデヤリタイト思ヒマス、司法大臣ガ本案ノ提出理由ヲ御説明ナサル時ニ、事件ヲ迅速且ツ妥當ニ解決スル爲ニ本案ヲ提出シタノダト云フ御演説ガアリマシタガ、ソレハ今マデノヤリ方ダト迅速デナク、非常ニ遅延スルト云フコトガ裏面ニ含ンデ居ルヤウデアリマス、且ツ妥當ニ解決スルト云フコトニナルト、ドウ思フノデスガ、ドウモサウ云フヤウニ耳ニ響クモノデアリマスカラ、ココデ一言伺ツテ置クノデスガ、從來ノ事件解決ガ洵ニ遅延シタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、ツタト云フ風ニモ聞エルノデアリマス、

ニ厲行シタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第アリマス、唯法規トシテハ民事訴訟ニ於キマシテハ、刑事訴訟法同様ニ十五日トカ、一月ト云フコトヲ以テ必ず更新シナケレバナラナイトスルコトハ如何デアラウカ、是ハ多少研究ノ餘地ガアラウカト存ジテ居リマス

○古島委員 準備手續デ救濟スルヤウナ意圖ガアツタト云フコトハ、或ハサウデアリマセウ、所ガ實際五年モ六年モ準備手續ニ掛ツテ居ル事件ガアル、是ハ決シテ稀デハナイノデアリマス、準備ト云フモノハ準備モソット早ク行クト思フ、五年位掛ツテ居ルノモアル、ソレハ準備手續ヲ幾ラデモ延期ガ出來ル、準備手續ヲ兩方ガ出廷シナ

方ガ私ハ宜イト思フ、所デハハ一緒ニ御返

事ヲ承レバ宜イノデアリマスガ、事件ヲ敏

速ニスル、其ノ方ハ宜イノデアリマスケレモ、妥當ニ解決スルト云フコトモ同ジク

提案ノ理由ノ一ツデアリマス、若シ妥當ニ

解決スルト云フナラバ、是ハ控訴ヲ廢止ス

ルコトハ却テドウモ妥當ナラザルモノガ多

クナルト云フ心配ガアルヤウニ私ハ思フノ

デアリマス、頂戴ヲ致シマシタ資料ニ照シ

マシテモ、第一審事件ガ控訴サレテ、控訴

審ニ於テ旨ク解決シタノモアルシ、或ハ第

一審判決ヲ取消シテ、第一審判決ト違フ判

決シタノガ大分出テ參リマス、刑事案件ニ

於テハ無罪ニナツタ事件ガ大分出テ參ルノ

デアリマス、斯ウ云フヤウナ事カラ考ヘマ

スト、敏速ニスルノハ其ノ方デ宜イガ、妥

當ニスルト云フコトニナルト、控訴審ヲヤ

ハリ置イテヤルト云フコトノ方ガ宜イノデ

ハナイカト私ハ思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○大森政府委員 控訴審省略ノ點ニ付キマシテハ、實ハ屢々御答辯申シタ次第アリマスガ、控訴審省略ト云フコトハ決シテ理想デハナインデアリマシテ、私共避ケラレル限リハ避ケタイト云フ積リデ居リマス、併シ是亦數回申上ゲマシタ通リニ、人員配置ノ問題カラ致シマシテ、最小限度涙ヲ揮ツテ此ノ戰時下ニ於テハ控訴審ヲ省略シナケレバナラナイ、左様ナ破目ニ立至ツタノデアリマシテ、是ハ戰時下ノ特例トシテ已ムヲ得ザル措置、斯様ニ御詫承ヲ願ヒタイノデアリマス

○古島委員 私ハ控訴審ヲ唯廢ヌル廢ヌ

ト云フ意味合ヒヂヤナイ、提案ノ理由ト反

シハシナイカト云フ心配ガアルモノデアリマスカラ、ソコラ承ツテ置イタノデス、實

際カラ言ヒマスト、是ハ時間ガ掛ルカラ私

ハ申上ガタクナイノデスガ、地方裁判所デ

控訴ヲ取扱ツタ事件一万五千八百十六件

ノ中デ、原審ノ取消サレタモノガ二千二百

三十四件、和解ガ一千四百八十一件、其ノ

外ニ取下ガ四千三百六十六件、斯ウ云フ

統計ガ出テ參ツテ居ルノデアリマス、此ノ

中デ取下ゲト云フノハ、恐ラク控訴中ニ和

解ガ出來タノデアリマス、此ノ

如何デアリマスカ

○大森政府委員 先程モ申述ベマシタ通り、控訴審ト云フモノハ制度ト致シマシテ甚ダ結構デアリマスルコト是レ固ヨリ申上ゲルマデモナインデアリマス、唯吾々トシテ屢々申シマスルト、ヤハリ區裁判所第一審事件デアリマス、此ノ控訴ガ二〇%デアリマス、大體毎年同ジヤウナ比例ニナツテ居リマスガ、一、三申シマセウ、昭和十四年デ申シマスルト、ヤハリ區裁判所第一審事件デアリマス、斯ウ云フヤウナ事カラ考ヘマスト、敏速ニスルノハ其ノ方デ宜イガ、妥當ニスルト云フコトニナルト、控訴審ヲヤ

ハナイカト私ハ思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

モノハ成程手數毛掛ルデアラウガ、第一審判決ヲ解決スル好適ナ場所デハナイカ、一月度ハ妥協ガ出來ルトカ云フ機會ヲ與ヘルノデアツテ、妥當ナル解決ヲスルト云フモトカラ見ルナラ、少クトモ控訴ト云フモハ認メテ置クト云フノガ宜イノデアル、如何ニ戰時中ト雖モ事件解決ハ本人同士デ解决スルノガ宜シイ、裁判上ノ和解モ宜シイ、之ヲ考ヘタ時ニハ御許シニナルノガ當リ前ト思フ、又刑事案件ノ方ヲ見マシテモ、丁度八年カラ十二年マデノ統計デ十二年ノ分ヲ申シマスト、控訴審ノ取扱ツタ七千七百六十六件ノ中ニ、無罪ガ百四十件アル、斯ウナリマストヨク吾々百人、千人ノ罪人ヲ逃シテモ、一人ノ無辜ヲ罰スルナト云フノガ刑事上ノ一番尊ブ原則ダト謂ハレテ居ツタノデアリマスガ、百四十件モ無罪ガ出来タ、控訴ヲ許サレヌガ爲ニ此ノ人達ヲ見殺シニシナケレバナラスト云フコトニナルノデアルカラ、妥當ナ解決ニドウシテモ居ツタノデアリマスガ、百四十件モ無罪ガナラヌ、妥當ト云フコトヲ希冀スルナラバ、控訴ト云フモノヲ設ケテ、之ニ時間ヲ短縮シテモ宜シイカラ何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ點ハ如何デアリマスカ

先ツ民事ニ付テ申シマスルガ、區裁判所第一審トスル事件デアリマス、即チ區裁判所事件ニ對スル控訴ノ比率ノ統計ヲ申ス

ノデアリマス、昭和十五年デ控訴ノ數ガ百

分中ノ二十二デアリマス、其ノ控訴ノ結果

ノ比率ヲ申上ゲマスルガ、却下及ビ棄却ニ

ナリマシタノガ六九%デアリマス、取消

變更、差戻、即チ原判決不當ナリトナリマシタノガ三一%デアリマス、只今御指摘ニナリマシタ和解、取下其ノ他ノモノヲ除キ

マス、此ノ二〇%ノ控訴ノ結果ヲ、ヤハリ控訴シタモノニ付テ百分率デ申シマスルト、

棄却、却下ガ六八%，取消、變更、差戻ガ

三二一%デアリマス、昭和十三年度デ申シマ

スト、ヤハリ區裁判所ヲ第一審トスル事件デアリマスルガ、控訴ノ率ガ一九%デアリマス、其ノ控訴ニ相成リマシタ中デ控訴棄却及ビ却下ガ六六%，取消、變更、差戻ガ三四%デアリマス、尙ホ年數ヲ逐ツテ申述ベテモ宜イノ、デアリマスルガ、大體斯ウ云フヤウナ傾向デアリマシテ、區裁判所ヲ第一審ト致シマスル事件ニ付キマシテハ、控訴ノ率ガ大體二十割ト云フ見當デアリマス、サウシテ其ノ中控訴棄却又却下ニナリマシタモノハ大體七〇%デアリマシテ、取消、變更、差戻ニナリマシタノガ、是亦大體三〇%見當デアリマス、以上ハ區裁判所ヲ第一審ニ致シマスル民事事件ニ付テ申述ベタノデアリマスルガ、今度ハ地方裁判所ヲ第一審ニ致シマスル民事事件ニ付テ申シマス、昭和十五年デ申シマスルト、控訴ノ率ガ五ー%デアリマス、此ノ控訴ノ事件ニ付テ更ニ百分率デ結果ヲ申シマスルト、棄却及び却下ガ七三%、取消、變更、差戻ニナリマシタ、即チ原判決不當ナリト認メラレマシタモノガ二七%デアリマス、昭和十四年度デ申シマスト、控訴ノ率ガ丁度五〇%デアリマス、其ノ中棄却、却下ニナリマシタノガ七一%、更ニ取消、變更、差戻ニナリマシタノガ二九%、昭和十三年デ申シマスルト、控訴ノ率ガ四八%デアリマス、其ノ中デ棄却、却下ニナリマシタノガ、控訴事件ノ中ノ七一%、取消、變更、差戻ニナリマシタノガリマスルモノガ七〇%若シクハソレ以上、ソレカラ取消、變更、差戻ニナリマスルノガ三〇%内外、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイノ

次ニ刑事事件ニ付テ申シマスルガ、刑事事件ノ昭和十四年ノ統計ヲ申シマスルト、區裁判所ヲ第一審ト致シマスル事件ニ付キマシテ、控訴ノアリマシタノガ一四・六%デアリマス、即チ百件ノ中デ十四件餘リデアリマス、是ハ昭和十四年ダケノ統計デアリマスルガ、昭和十年カラ昭和十四年マデノ五箇年間ヲ平均致シマスルト、是ガ一四・九%デアリマス、即チ百件ノ中デ十四餘リ、即チ十五弱ト云フコトニ相成ルノデアリマス、地方裁判所ヲ第一審ト致シマスル事件ニ付キマシテハ此ノ率ガ多少上ルノデアリマシテ、控訴ノ率ハ三〇・一%デアリマス、是ハ昭和十四年ノ統計デアリマシテ、昭和十年カラ昭和十四年マデノ五箇年間ヲ平均致シマスルト、三四・四%ニ相成リマス、刑事案件ニ付テ其ノ控訴ノ結果ヲ比率デ申上ゲマスルト、是ハ第一審ガ區裁判所デアリマスル場合、第一審ガ地方裁判所デアリマスル場合、ソレヲ引括メテ申スノデアリマス、控訴事件一〇〇%ノ中デ無罪免訴及び刑ノ免除ニナリマシタモノガ一・五五%デアリマス、ソレカラ第一審ヨリ重イ刑ニナリマシタモノガ三・四四%デアリマス、輕キ同様ダト云フ刑罰ハ五五・八四%デアリマス、是ハ昭和十四年ニ付テノ調査デアリマシテ、控訴ノ結果原判決ノ破レルコトハ固ヨリアルノデアリマシテ、此ノ比率ハ決シテ辯解的ニ申上ゲタノデハナイノデアリ想像致スノデアリマス、斯様ナ工合デアリマス、唯控訴審ヲ省略セザルヲ得ナイ此ノ

○古島委員 戰時民事特別法案ノ五條ニ依リマスト、裁判所構成法戰時特例第三條第
一項ノ訴訟ノ請求ガ他ノ請求ト併セテ提起シラレタ場合ニハ、口頭辯論ヲ分離スルト
云フコトニナツテ居リマスガ、斯ウナルト例ヘバ境界確認ノ訴訟ガ出テ境界確認ヲ
ロ、其ノ境界上ニ存置スル工作物ヲ收去シ
ロト云フ訴訟ガ出タストレバ、其ノ收去ニ
方ダケハ占有ノミニ關スル訴訟、境界ノミニ
ニ關スル訴訟デナク、是ハ分離スル云フコトニナルト思フノデアリマス、若シ之ヲ
分離スルト云フコトニナレバ、占有訴訟ガ片付キ、境界ノミニ訴訟ガ片付イテモ、實
際事件ガ片付イタト云フコトニナラヌノデアリマシテ、其ノ境界ヲ越エテコチラニ瓦
ノマデモ分離スルコトニナリマスト、解決ヲ敏速ニヤルノデナク、解決ガ遅レルコトニ
ニ相成ルト思ヒマスガ、之ヲ分離スルコトヲ止メル譯ニハ行カヌノデアリマスカ、承
ツテ置キマス

於キマシテ控訴審ヲ省略致シマスル事件ヲ
極度ニ制限シタモノデアリマスカラ、是ト
併合的ニ他ノ訴へガ起サレタ場合、控訴審
省略ノ方ニ引付ケルコトハ固ヨリ不當ニア
リマス、サレバト云ツテ控訴審省略ニナリ
マス當該種類ノ訴訟ニ併合シテ訴ヘラレタ
カラト云ツテ、總テヲ三審制度ニスルコト
モ是亦無意味デアリマス、デアリマスカラ、
已ムヲ得ズ分離ヲスルト云フコトニ相成ル
ノデアリマシテ、規定ノ結果ト致シマシテ、
運用ハ確カニ錯雜ヲ致シマス、御指摘ノヤ
ウニ、片ガ付イタヤウナ片ガ付カヌヤウナ工
合ニ相成リマシテ、是ハ實ニ殘念デハアリマ
スケレドモ、是レ即ち控訴審省略ノ事件ノ
種類ノ限定ヲシタガ爲ニ起リマスル已ムヲ
得ザル結果デアリマシテ、若シ總テノ事件
ニ付テ控訴審ヲ省略スルナラバ、是ハ手續
ハ簡明ニ參リマセウケレドモ、先程申シマ
シタ通りニ、控訴審省略ノ事件ハ極度ニ限
定シタイト云フ方針カラ來ル、蓋シ已ムヲ
得ザル當然ノ結果デアラウト思フノデアリ
マス

摘ニナリマシタ零細ナ營業形態ニアリマスル者、詰リ野菜類ナドノ極ク小規模ニ於キマスル業者、サウ云フ者ハ、サウ買占或ハ賣惜ヲ大規模ニ行フト云フコトハ豫想ザレマセヌケレドモ、若シ大規模ニサウ云フコトガ行ハレマスレバ、是ハ本條ニ依ツテ取締ラレマスシ、若シソレニ當ラヌデモ、程度ヲ越シテ居ルト云フヤウナ者ニ付キマシテハ、是ハサウ苛酷ナ取扱ヒニ亘ラナイヤウニ、十分運用上ニ付テ注意致シマスノデ、本條ノ規定ノ運用ノ方面ニ於テハ、司法當局ニ於キマシテハ、サウ不公平トカ或ハ又非常ニ苛酷ニナルト云フヤウナコトハナイト確信致ス次第アリマス、左様御諒承ヲ賜ハリタイト思ヒマス

○古島委員 言葉ヲ返ヘスヤウデ恐縮致スノデスガ、元來法律ノ説明ヲスルノニ、大規模ダトカ小規模ダトカ云フ言葉ガマヅイノデス、事ノ大小、多イ少イニ依ツテ判斷スルト云フコトニナツタラ、サウ云フ定規ハアリマセヌカラ、ソコデ彼ハ大規模ナルガ故ニ此ノ犯罪ハ成立スル、是ハ小規模ナルガ故ニ成立シナイト云フコトノ區別ガ付カヌノデス、ソコデサウ云フ説明ハ洵ニ困ルト思フノデス、ソレヨリモ本當ノ法ノ精神カラ言ヘバ、今ノ生活必需品ガ窮屈ニナルコトヲ救濟スルト云フ意味カラスレバ、餘り意地張ラズニ、此ノ「業務上」ト云フ三字ダケヲ此ノ條文カラ削除スレバ宜イノデヤナイカト思フ、例ヘバ私ノ如キ貧乏人デアレバ、十月二十圓ノ物ヲ買占シテモ大規模デスカラ、是ハ犯罪ガ成立スル、刑事局長犯罪ガ成立シナイ、所ガソンナコトニ構ハ

致シマシテモ、富裕ナル刑事局長ガ買占ヲ
トニナレバ犯罪ガ成立スルコトニナルト思
フ、ソコデ此ノ三字ヲ削除スルト云フコト
ヲ御考ヘ願ヒタイノデアリマス

更ニ、時間ガアリマセヌカラ急イデ申上ガ
マスガ、不正ノ利益ヲ得ル目的ヲ以テ買占
メテ不正ノ利ヲ得タト云フコトニナリマス
ト、詰リ不正ノ利ヲ得タ方ハ公定價格ヲ破
ツテ超過價格ヲ自分デ利得シタト云フヤウ
ナコトヲ豫想スルト、是ハ國家總動員法違
反ト云フコトニ依ツテ處罰サレ、買占ハ買
占ニ依ツテ更ニ處罰サレルト云フコトニナ
ルノカ、ソレガ何レカニ吸收サレテシマフ
ノカ、此ノ二ツヲ承リタイト思ヒマス

○池田(克)政府委員 古島サンノ御質問ノ
第一點ニ關シマスル問題デゴザイマスガ、
御承知ノ通リ昭和十四年ノ商工農林省令デ
暴利行爲等取締規則ガ制定サレテ居リマス
ソレニ依リマンシテ業者タルト否トヲ問ハ
ズ、苟クモ正當ノ事由ナクシテ買占行爲ヲ
スル、或ハ賣惜行爲ヲスルト云フ場合ニ於
テハ、此ノ省令違反ニナル譯デゴザイマス、
本條ニ於キマシテハ、戰時下ニ於キマスル
一般國民ノ日常生活ニ於テ必須缺クベカラ
ザル生活必需品ノ配給ヲ阻礙スル所ノ、特
ニ著シク情狀ノ重い者ヲ刑法犯トシテ特ニ
規定シタノデゴザイマシテ、其ノ點ハ左様
ニ御諒承ヲ賜ハリタイト思ヒマス、隨ヒマ
シテ、先程モ申上ゲマシタ通り、此ノ「業務
上」ト云フコト、「不正ノ利益」ト云フコト、此
ノ「ツヲ加重條件ニ致シタ次第アリマシ
テ、若シ此ノ「業務上」ト云フコトヲ本條カラ
取りマスト、實ハ本條立案ノ趣旨ガ半分ハ

○池田(克)政府委員　此ノ戰時刑事特別法
案ニ於キマシテハ第一條カラ第六條マデ
犯罪ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリ
シタ通りニ、特殊ノ狀態下ニ於テ行ハレ
スコトヲ刑罰ノ加重條件トシテ居リマスガ
其ノ行爲ノ一部ガ此ノ特殊狀態下ニ於テ
ハレマスルナラバ、ソレドヘノ犯罪ノ成立
○古島委員　最後ニ一言承リマスガ、此
戰時刑事特別法ニ依リマスト、ドノ條文
モ冒頭ニ、戰時ニ際シ燈火管制中又ハ敵軍
ノ危險其ノ他人心ニ動搖ヲ生ゼシムベキ事
態ニアル場合ニ於テ何々ヲ爲シタ者ト、甚
ウ云フ冒頭ガ置イデアル、此ノ何々ヲス
ト云フ冒頭ノ時ハ、是ハ犯罪ノ着手ノ時カ
既遂ノ時カ、何レノ時ガ斯ウ云フ時期ニ
ツテ居レバ宜イノカ、或ハ着手シタ時ガ斯
ウ云フ風ナコトヲ要スルノカ、既遂當時
斯ウ云フコトヲ要スルノカ、既遂ニナル
キ時期ガ斯ウ云フ時ニ際會スレバ宜イノ
カ、ドノ時期ヲ指シタノカ、明瞭ニ承リ
ス

ナルコトハ勿論デアリマス、例ヘバ着手掌時ニ於テハ此ノ状態下デハナカツタケレドモ、實行行爲ガ此ノ状態下ニアツタ、或ハシマツテ既遂ニナツタ、斯ウ云フ場合ニシテ着手行爲ハ此ノ状態下ニ於テ着手サレタノ如ル一部ガ此ノ状態下ニ於テ行ハレマス限り各條ノ適用ヲ見ルコトニナルノデアリマフ〇古島委員 是ハ曾テ司法次官カラ承ツタ御良イ言葉ダト私ハ感心ラシタノデス、ガ、是ハドサクサ紛レニヤル奴ヲ罰スルノダヨト云フ此ノ一言ヲ聽キマシテ、成程羨ツテ妙ナ言葉ダト思ツタ、併シ今刑事局長カラ聽キマスヤウニ行爲ノ一部ヲト云フトニナリマスト、ドサクサ紛レニモナラムノデアリマス、今日ハ平穏ダカラト云フノデ其ノ奴ガ泥棒ニ入ツタ、品物ヲ物色シシテ自分ノ懐ロニ入レテ、今舜ヲ乘越ヘテ逃亡ヨウト思ツタ時ニ燈下管制ノ「サイン」が鳴ツタ、斯ウ云フコトニナルト、兎ニ角対盜ハ、向フノ勢力範囲ニアルノヲ自分ノ轄力範囲ニ持ツテ來レバ竊盜ト謂ハレル、ガ其ノ家ニ入ツテ舜ヲ乗越ヘテ逃ゲヨウト思ツタ時ニ、舜ノ上デ丁度「サイン」が鳴ツタ、是ハ此ノ規定ニ入ラナイヤウニモ田舎フ、即チ平穏ノ時ニ泥棒ヲシタノダ、逃亡時ニドサクサ紛レニナツタノダ、斯ウノデコトデ入ラヌコトニナル、逃ゲルコトエヤハリ犯罪ノ一部ダト云フコトニナレバスルノダガ、舜ヲ乘越ヘルト云フコトハ一部手スル時ニハ一部ニ入リマスカラ此ノ方ハ宜シウゴザイマスガ、兎ニ角解除ノ時ハ何時行

デモ大概其ノ前ニ犯罪ニ着手シタコトニナルガ、改メテ警戒管制ニナルト云フ時ニナルト、是ハ餘程問題ダト思ヒマスガ、ソント寺、ミウチノミイカ力

○池田(克)政府委員 古島サンノ御指摘
ナツタヤウナ竊盜ノ時ハ既遂ニナツテシ

ツテ居ル譯デスカラ、當然此ノ適用外ト考
ヘマス、左様御諒承願ヒマス
○古島委員 ソコデ心配ニナルコトハ、後
デ是ガ問題ニナツタ時ニ、司法省ハ何カノ
設備デモ致シテ、何時何分何秒カラ警戒管
制ニナツタト云フヤウナコトヲ記録ニ留メ
テ置キマスカ、若シモサウ云フコトデモシ
ナイト、ソレハ違フ、警戒管制中デヤナカ
ツタノダ、ソレヨリモ二分遅レテ居ツタノ
ダト云フコトデ、議論ガ出タ時ニハ淘ニ困

サウ不確定ダトカ暖昧ダトカ云フ風ナコト
ハ、御懸念ニナルヤウナコトハ萬々ナイト
確信致ス次第デアリマス

○野村委員長 古島君、モウドウデス

○古島委員 宜シウゴザイマス

○立川委員 議事進行ニ關シテ私御願ヒガ
アルノデス、私兩三日前カラ總理大臣ノ御
出席ヲ求メテ居ルノデスガ、マダ御出席モ
ナイシ、何時出テ來ラレル豫定ダト云フ通
告モナイ、委員會ヲ幾日デモ續ケテヤツテ

時下デアルガ故ニ特別ナル裁判ノ手續簡易化ヲ要求スルト云フコトハ、如何ニモ尤モノコトデアリマス、裁判所ノ職員ガ缺乏シテ居ル、ソレデ困ルカラドウシテモ此ノ法案ノ通りニ控訴審ヲ省略スル、或ハ證人鑑定人ノ訊聞ノ簡易化ヲ圖ラナケレバナラヌ、辯護人ノ制限ヲシナケレバナラナイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマスナラバ、蓋シ吾吾ト雖モ、多少ノ不満ハアツテモ、此ノ戦時下黙ツテ呑込ンデシマハナケレバナラヌ

斯ウ云フ思想ガドウシテモ強ク反映スルノデ
ハナイカト思フノデアリマス、法案其ノモ
ノノ精神ガサウ出來テ居リマスカラ、却テ
從來ヨリモ事件ヲ促進スルベク裁判所ガ努
メラレルノデハナカラウカ、斯ウ云フ憂ヒ
ガ吾々カラ見マスト多分ニ深クナルノデア
リマシテ、或ヘ失禮ナ言葉デアリマスケレ
ドモ、親ノ心子知ラズト云フヤウナ結果ニ
陥ルノデハナカラウカ、サウ云フ懸念ハ多
分ニアルト思ヒマス、政府委員ノ言明ニ依

ルト思ヒマスガ、之ヲ何カ明確ニ記帳スル
ト云フコトハ、是ハサウ云フドサクサノ場
合デスカラ、空襲ヲ受ケタ、又一度目ノ空
襲ダト云フコトニナルト、中々記録シテ置
クト云フコトモ困難ダト思ヒマス、司法省
デハ斯ウ云フ規定ヲ設ケル以上ハ、何カ其
ノ議論ガ起ラナイヤウナ風ナコトヲ考ヘテ
居ルノヂヤナイカト思ヒマスガ、何カ御考
ヘガアリマスカ

居ルコトハ、私ハ賛成、デスカラチツトモ差
支アリマセヌケレドモ、議事ノ進行上甚ダ
困リマスカラ、委員長カラ一ツ嚴重ニ御督
促ヲ願ヒタイ

○野村委員長 御尤モデス、二、三日前カラ
交渉シテ居ルケレドモ埒ガ明カナイノデ、
私ハ是カラ時間ヲ得テ總理大臣ニ直接會フ
カ、書記官長ニ會ツア、尙フノ返事ヲ取ル
積リデス——松木君

ト云フ考ヘモ起キマス、司法當局ガ此ノ三
法案ヲ御編ミニナツタ御苦心ヤ御苦衷ニ對
シテハ、私共モ深甚ノ敬意ヲ拂フ者デアリ
マスケレドモ、併シ從來多年三審制度ニ國
民ガ信頼シテ來テ居ツタ裁判運用ノ制度
ヲ、一朝ニシテ或ル事件ニ對シテ控訴ヲ
省略スルト云フコトハ、非常ニ國民ノ不安
ヲ來シマスト共ニ、或ハ此ノ制度ノ省略ノ
爲ニ怨嗟ノ聲ヲ放タヌトモ限ラヌノデアリ

リマスト、裁判所ノ職員ガ缺乏シテ居り、
補充ニモ困難デアルト云フコトデアリマス、
而シテ今後戦局ノ發展ニ伴ツテ、尙ホ一層
人員ノ要求ヲ切實ナラシムルト云フ御詫デ
アルトスレバ、從來ニ増シテ老練達識ノ判
事ヲ各區裁判所ニ配置スルト云フガ如キコ
トハ、言フベクシテ行ヒ得ザルコトデナカ
ラウカ、人員ガ足リナイ、補充ニモ困難デ
アル、戰局ノ發展ニ伴ツテ益、職員ノ要

○池田(克)政府委員 燐火管制ニ付キマシテハ、古島サンモ御承知ノ通りニ、防空法令ニ依ツテ決ツテ居リマシテ、例ヘバ準備管制、警戒管制、非常管制トアル譯デゴザイマスガ、ソレハソレノ職權アル者カラ

○松本委員 モウ大分各種ノ方面カラ質問
ガゴザイマンシテ、殆ド盡キテ居ルト思ヒマ
スケレドモ、私ハマダ腑ニ落チナイ點ガア
リマスカラ、大觀的ニ御意見ヲ伺ツテ見タ
イト思フノデアリマス

マヌ、此ノ點ハ十分注意シナケレバナラヌ
點デアリマス、ドウモ私共大臣ノ御声明ヲ
決シテ信用シナイト言フノデハナインデア
リマスケレドモ、此ノ法案ノ立法ノ精神カ
ラ申シマスト、戦時トデアルガ故ニ事件ヲ

ノ下令ニ依ツテ決マル譯デ、ゴザイマシテ、
隨ヒマシテサウ云フ點ニ付テハ何等不確實
トカ何トカ云フコトハナカラウト思ヒマス、
唯固ヨリ犯人ニ於キマシテハ燈火管制中ダ
ト云フコトノ認識ヲ主張スルコトハ勿論

〔委員長退席 山本委員長代理着席〕

常ノ見ル所カラズレバ、成程經濟事犯ハ非
常ニ殖エテ居リマスケレドモ、其ノ他ノ刑
事事件ニシテモ、民事事件ニシテモ、段々
減ツテ居ル、統計ハ分リマセヌケレドモ、
昭和十六年ノ如キハ非常ニ激減シテ居ルト

ソコデ第一點ノ御尋ネデアリマス此ノ司
法省提出ノ三法律案、是等ノ總テノ土臺ニ
ナツテ居ルノガ促進主義デアツテ、是ガ裁
判所ニ對スル影響トシテ事件ノ審理ガ粗略
ニナリハシナイカト云フコトヲ惧レルト云
フ御趣旨ニ拜承致シタノデアリマス、成程
此ノ立案ノ趣旨ニ付テハ前ニモ申述ベマシ
タ通り、審理ノ迅速ハ之ヲ必要ト致シマス
ケレドモ、裁判デアリマスルカラ拙速デ片
付ケヨウト云フ趣旨ハ寸毫モナイノデアリ
マス、況ヤ控訴審ヲ省略スルノデアリマス
ルカラ、第一審ヲ今日以上ニ慎重ニシナケ
レバナラヌコトハ、私共モ其ノ必要ヲ痛感
致シテ居ルノデアリマス、デアリマスルカ
ラ若シ此ノ法律案ガ多少トモ吾々部内ノ職
員ニ拙速主義可ナリト云フ影響ヲ與ヘルモ
ノトスルナラバ、是ハ私共ノ最豫期ニ反
スル所デアリマシテ、拙速主義デハナイト
云フコトヲ、凡ユル機會ヲ利用シテ十分部
下ニ徹底ヲ致ス積リデアリマス、其ノ點ハ
先程司法大臣カラ御答ヘテ致シマシタ、第
三ノ運用方針ニモ包含セラレテ居ル譯デア
リマス、私共十分ノ努力ヲ致シマスガ、暫
ラク其ノ實績ヲ御覽願ヒタイト存ズルノデ
アリマス

裁判所ト致シマシテ、決シテ良イコトデハナイ、ノデアリマスルカラ、左様ナコトハ極力之ヲ除キタイト存ジテ居リマス、幸ヒニ此ノ法案ガ御協贊ヲ經テ實施ニ相成リマスルカラバ、地方裁判所ニ相當ノ手ガ空クト云フ見込ミハ付イテ居リマス、デアリマスルカラ、地方裁判所カラ或ル者ハ訴訟院ニ振向ケ、或ル者ハ區裁判所ニ振向ケル、此ノ見込ハ付イテ居リマス、是亦一ツ一生懸命ニナツテ努カシテ見タイト存ジテ居リマス次ニ第三點デアリマス、戰時民事特別法案ノ第九條ノ問題デアリマス、即チ證人、鑑定人ノ訊問ニ代ヘテ書面ヲ以テ提出セシムルト云フ便法ガアリマス、是亦屢々申述ベマシタ通り、決シテ是ハ廣く行ハナイ積リデアリマス、斯様ナ便法ヲ執ツテモ尙且ツ信用スルニ足ルベキ見込ノアル證人、鑑定人ニ付テノミ此ノ便法ヲ執ル積リデアリマシテ、決シテ廣く一般的ニ此ノ便法ヲ推シ及ボス積リハナイノデアリマス、即チ戰時下交通ノ不便等ヲ考ヘマシテ、最小限度ノ利用ヲ以テ之ニ臨ムト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス

次ニ第四點デアリマスガ、刑事辯護人ノ數ノ制限ノ問題デアリマス、是ハ先づ私共ノ見解ト致シマシテ、一人ニ二人アレバ左程不安不滿ヲ來スコトモナイデアラウト云フ見込ヲ持ツテ居リマスルシ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ同情者或ハ親戚、知己、斯ウ云フ者カラ辯護士ヲ差向ケル、斯ルノ途ハ決シテ杜絶シテ居ナイノデアリマシテ、唯法廷ニ對スル關係ニ於テ二人、斯

ウ云フコトニシタノデアリマスカラ、今ノヤウナ御懸念モ先づ必要ハナクナリハシナイカト存ズルノデアリマス、之ヲ要約シテ申シマスニ、成程敏速ニシナケレバナラナレドモ、何デモカデモ敏速デ、慎重ヲ缺イテモ宜イノダト云フ趣旨ハ毫モ持ツテ居ナイノデアリマシテ、此ノ趣旨ハ十分ニ部分一般ニ徹底サセル積リデアリマスカラ、左様御諒承願ヒタイノデアリマス〇松木委員 只今ノ御言明ハ承ツテ置キマス、私ノ質問ハ時間モアリマセヌカラ是デ止メマスガ、唯一一項一寸法文ニ付テ伺ヒタインデスガ、是ハ或ハ私ノ考へ達ヒカモ知レマセヌケレドモ、戦時刑事特別法案ノ第十九條ニ「戦時ニ於ケル刑事手續ニ關スル特例ハ本章ノ定ムル所ニ依ル」トゴザイマスカラ、此ノ法律施行後ハ、總テ戦時ニ於ケル刑事手續ニ關スル特例ハ、此ノ規定ニ依ルト云フコトニ解釋シテ差支ヘナイト思フノデアリマス、然ルニ第二十八條ニバ「上告裁判所訴訟記録ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ上告申立人及對手人ニ通知スベシ、上告申立人ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ上告趣意書ヲ上告裁判所ニ差出スベシ」トアリマス、是ハ勿論刑事訴訟法ノ普通ノ刑事案件ノ上告ト異ツタ規定デアリマスガ、然ルニ其ノ第四項ニ參リマスト「刑事訴訟法第四百二十二條、第四百二十三條及第四百二十四條第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ」トアリマスガ、是ハ一體無用ノ規定デハナナイカト思フノデアリマス、控訴ヲ許サザル刑事案件ニノミ此ノ二十八條が適用サレルノデアルカ、或ハ戦時下ノ

○池田(克)政府委員 第二十八條ノ規定ハ、戰時下ニ於ケル刑事案件ニ付テ適用ヲ見ル趣旨デアリマス
○松本委員 ソレナラバ四項ト云フモノハ要ラナイノデハナイデスカ、ソレハ當然適用サレナイコトニナルノデハナイノデスカ
○池田(克)政府委員 御意見通リデアリマスガ、唯注意的ニ茲ニ規定ヲ設ケタ次第デアリマス
○松本委員 サウスルト他ノ方モ注意シナケレバナラスト云フコトニナルノデスネ
○池田(克)政府委員 其ノ他ハ第三十條ノ規定ガ…

○池田(克)政府委員 第四項ノ規定ヲ設ケマシタノハ、刑事訴訟法ニ於ケル期日ノ指定ガゴザイマス、其ノ期日ノ指定ヲ必ズシモ除外サレナイノデハナイカト云フ一應ノ疑問ガアリマスノデ、第四項ノ規定ヲ設ケテ刑事訴訟法ニ於ケル第四百二十二條以下ノ規定ハ之ヲ適用シナイト云フ趣旨ヲ明カニシタ次第デアリマス
○松太委員 ソレデハ注意のモノデスネ、二十八條ト云フノハ戰時下ノ刑事案件ニ上告ニハ全部適用サレルト云フコトニナルノデアリマスガ、是ハドウ云フコトニナルノデセウカ

○池田(克)政府委員 左様デアリマス
○野村委員長 モウ十二時モ過ギマシタノ
デ、午前ハ此ノ程度デ休憩シテ、午後ハ一
時カラ開會致シマス

午後零時六分休憩

午後一時三十七分開議

○野村委員長 午前ニ引續キ會議ヲ閉キマ
ス——原夫次郎君

○原(夫)委員 私ハ政府ニ三點ダケニ牽聯
シテ御尋ネシタノデアリマス、大體ノ議
論ハ盡キテ居ルト思フノデアリマスガ、先
づ第一ニハ證據ト裁判ノ關係ヲ御尋ネシテ
置キタイ、此ノ政府案ニ依ルト、區裁判所
ハ第一審ト云フコトデ、竊盜トカ、罰金ト
カ、科料トカ、區裁判所ノ本然ノ管轄ニ屬
スル問題ハ姑ク措キマシテ、主トシテ事件
ガ非常ニ多量ニ來ルベキ經濟事犯ニ付テ御
尋ネシタノデアリマス、尙ホ冒頭ニ申
上ダマセヌデシタガ、私ハ時間モアリマセ
ヌシ、主トシテ裁判所構成法ノ改正ト經濟
事犯ノ刑事手續、此ノ二ツノ問題ニ限ツテ
只今申上ゲタ證據ト裁判ノ關係ヲ御尋ネ致
シタノデアリマス

此ノ戰時刑事特別法案ノ第二十五條ニ依
ルト「地方裁判所ノ事件ト雖モ刑事訴訟法
第三百四十三條第一項ニ規定スル制限ニ依
ルコトヲ要セズ」斯ウ云フ規定ガアルノト、
ソレカラ區裁判所事件ニ付テハ、是ハモウ
反ノ事件ニハ千差萬別ナ事件ガアルコトヲ
豫想致サナケレバナラヌ、又現在アル、非
常ニ簡易ナ略式命令デドシ／＼片付ク問題

モアル、又從來區裁判所デヤウテ居ル
ヤウニ早ク片付ク事件モアル、豫審ヲ經ル
事件ハ、是ハ取ツテ置キニスルガ、其ノ
他ノ事件デモ、檢事ノ手加減デ、此ノ法
律ノ面カラ言フト隨分面倒ナ事件ガカ
カル、サウ云フ場合ニ證據ニ依ツテ裁判ヲ
スル、其ノ證據タルヤ普通ノ第一審地方裁
判所ニ於テハ司法警察官ノ聽取書、檢事ノ
聽取書ハ證據ニナラスト云フコトニナツテ
居ルノガ、此ノ御提案ニ依ルト全部司法警
察官、檢事ノ聽取書ガ問題ニナツテ參ルノ
デス、是ハ現行ノ刑事訴訟法ノ改正ノ當
時カラ中々問題ニナツテ居ツテ、檢事ノ聽
取書モ證據ニシナインダ、之ニ付テハ私ナ
ド大分異論ヲ持ツテ居ル者デスガ、少クト
モ終身ノ保障ガアル檢事ノ聽取書ガナゼ證
據ニ採用ガ出來スカ、是ハ色々ナ時代ノ歴
史モアルコトデアルガ、又檢事自身ノ素養
正ガナインデス、ソコデ今日デモ危惧ノ念
モ、段々訓練ガ積ンデ行ツテ、世間ノ信頼
ヲ招クニ足ル立場ニアルト思フノデアリマ
ス、然ルニ此ノ點ニ付テハ今日マデ一向改
手ニ掛ツタ者ハ、行政執行法ニ三箇月デモ
三箇月デモ留メテ置ク、是ハ殆ド公然ノ祕
密的ニ檢事ガ指導シテ、或ハ警察ヘ出張シ
テ取調べヲスル前ニハ、必ズ警察官ヲシテ
ソレカラ區裁判所事件ニ付テハ、是ハモウ
ガ證據ニナル、斯ウ云フ立場ニ置カレテ居
ルノデアリマス、所デ此ノ國家總動員法違
反ノ事件ニハ千差萬別ナ事件ガアルコトヲ
豫想致サナケレバナラヌ、又現在アル、非
常ニ簡易ナ略式命令デドシ／＼片付ク問題

ト申シマセウカ、人權躊躇ト通俗ニ申シマ
セウカ、サウ云フ非常ナ缺陷ノアル手續ニ
基クモノヲ本體トシテ、證據ニ採用スルコ
トガ出來ルト云フ其ノ惡イ特例ヲ、今度ノ
此ノ案ニ依ルト御採用ニナツテ居ル、ソレ
ニ依ツテ裁判ヲサセヨウ、斯ウ云フ建前ニ
置カレテ居ルノデアリマス、此ノ事柄ヲ是
正スルニハ、從來國民側——辯護士側デ
モ我慢シテ、區裁判所ノ事件ハ協力シテ早
ク片付ケル、サウシテ控訴審ガアルカラ、
控訴デ一切事實ヲ判明シテ戴カウ、斯ウ云
フ建前デ皆ヤツテ居ル、尙ホソレノミナラ
ズ經濟事犯ニ對スル區裁判所事件ハ、御承
知ノ通リ警察デ調ベラレ、檢事ニ調ベラレ、
刑務所ニ送ラレル、刑務所ニ送ラレテ判決
云フ例ニナツテ居ル、サウスルト證據ニ依
リ裁判ヲナセト云フコトニ直グ抵觸スルノ
デスガ、之ヲ共產黨事件トカ、竊盜デアル
トカ、サウ云フヤウナ問題ナラバ一向構ハ
ヌ、今ノ刑事訴訟法モ其ノ趣旨ニ基イテ輕
微ノ事件ヲ急速ニ簡略ニヤルト云フコトデ
立案サレテ居ル法律デアルコトハ言フマデ
モナインデアリマス、茲ニ今度經濟統制ト
云フエライ大キナ問題ガ全國デ行ハレテ居
ル、ソレニ引ツ掛ル者ノ中ニハ隨分惡イ奴
モアル、併シ法律ニ通曉シナインシ、數多ク
出来タ經濟罰則ヲ知ラナイデ引ツ掛ツタ者
ナドモ隨分アル、一度ヒドイ目ニ遭ヘバ
シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リ
ザイマシテ、司法當局ト致シマシテモ、此
ノ點ニ付キマシテハ何トカ適正ナル解決ヲ
マスルコトモ、原委員ノ御承知ノ通リデゴ
スルカト云フコトガ、從來カラ朝野ノ法曹
界ニ於キマシテノ大キナ問題ニナツテ居リ
マスル未開拓ノ分野デゴザイマシテ、此ノ
御意見ノ開陳ガゴザイマシタガ、御言葉ニ
シテ經濟統制法令違反ノ事件ト、戰時刑事
特別法案第二十五條トノ關聯ニ於キマシテ、
付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○池田(克)政府委員 此ノ證據ト裁判ト云
フ問題ニ付キマシテ、只今原委員カラ主ト
シテ經濟統制法令違反ノ事件ト、戰時刑事
特別法案第二十五條トノ關聯ニ於キマシテ、
云フ例ニナツテ居ル、サウスルト證據ニ依
リ裁判ヲナセト云フコトニ直グ抵觸スルノ
デスガ、之ヲ共產黨事件トカ、竊盜デアル
トカ、サウ云フヤウナ問題ナラバ一向構ハ
ヌ、今ノ刑事訴訟法モ其ノ趣旨ニ基イテ輕
微ノ事件ヲ急速ニ簡略ニヤルト云フコトデ
立案サレテ居ル法律デアルコトハ言フマデ
モナインデアリマス、茲ニ今度經濟統制ト
云フエライ大キナ問題ガ全國デ行ハレテ居
ル、ソレニ引ツ掛ル者ノ中ニハ隨分惡イ奴
モアル、併シ法律ニ通曉シナインシ、數多ク
出来タ經濟罰則ヲ知ラナイデ引ツ掛ツタ者
ナドモ隨分アル、一度ヒドイ目ニ遭ヘバ
シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リ
ザイマシテ、從來或ハ司法制度調査會ニ於テ議
題トシテ檢討スル、更ニ又部外ニ於キマシ
テモ隨分此ノ研究ヲ進メテ居ル譯デハゴザ
イマスケレドモ、何ト申シマシテモ非常ニ
大キナ問題デゴザイマシテ、何トカ之ヲ適

神様ノ代理ヲスルヤウナコトデ、其ノ有罪
無罪ノ事實關係ガ、サウ云フ證據ニ依ツテ
區裁判所ノ判事ニ依ツテ裁判ヲサレル、斯
ウ云フ所ニ世間ノ疑惑ガ非常ニアル、又在
ト申シマセウカ、人權躊躇ト通俗ニ申シマ
セウカ、サウ云フ非常ナ缺陷ノアル手續ニ
基クモノヲ本體トシテ、證據ニ採用スルコ
トガ出來ルト云フ其ノ惡イ特例ヲ、今度ノ
此ノ案ニ依ルト御採用ニナツテ居ル、ソレ
ニ依ツテ裁判ヲサセヨウ、斯ウ云フ建前ニ
置カレテ居ルノデアリマス、此ノ事柄ヲ是
正スルニハ、從來國民側——辯護士側デ
モ我慢シテ、區裁判所ノ事件ハ協力シテ早
ク片付ケル、サウシテ控訴審ガアルカラ、
控訴デ一切事實ヲ判明シテ戴カウ、斯ウ云
フ建前デ皆ヤツテ居ル、尙ホソレノミナラ
ズ經濟事犯ニ對スル區裁判所事件ハ、御承
知ノ通リ警察デ調ベラレ、檢事ニ調ベラレ、
刑務所ニ送ラレル、刑務所ニ送ラレテ判決
云フ例ニナツテ居ル、サウスルト證據ニ依
リ裁判ヲナセト云フコトニ直グ抵觸スルノ
デスガ、之ヲ共產黨事件トカ、竊盜デアル
トカ、サウ云フヤウナ問題ナラバ一向構ハ
ヌ、今ノ刑事訴訟法モ其ノ趣旨ニ基イテ輕
微ノ事件ヲ急速ニ簡略ニヤルト云フコトデ
立案サレテ居ル法律デアルコトハ言フマデ
モナインデアリマス、茲ニ今度經濟統制ト
云フエライ大キナ問題ガ全國デ行ハレテ居
ル、ソレニ引ツ掛ル者ノ中ニハ隨分惡イ奴
モアル、併シ法律ニ通曉シナインシ、數多ク
出来タ經濟罰則ヲ知ラナイデ引ツ掛ツタ者
ナドモ隨分アル、一度ヒドイ目ニ遭ヘバ
シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居リ
ザイマシテ、從來或ハ司法制度調査會ニ於テ議
題トシテ檢討スル、更ニ又部外ニ於キマシ
テモ隨分此ノ研究ヲ進メテ居ル譯デハゴザ
イマスケレドモ、何ト申シマシテモ非常ニ
大キナ問題デゴザイマシテ、何トカ之ヲ適

モ、然ラバ如何ニソレヲ適法化スルカト云
フコト付テハ、ソレヽノ立場カラノ意見
ガ成立スル譯デゴザイマシテ、今日ニ至リ
マスルマデ適法化スル問題ガ成案ヲ得ラレ
ズ、又實現ノ運ビニ至ツテ居リマセヌコト
ハ、實ハ私共ト致シマシテ非常ニ遺憾ノ念
ヲ禁ジ得ナイモノデゴザイマス、左様ナ事
情デゴザイマシテ、今日ニ於キマシテハ甚
ダ望マシイコトデハナイノデゴザイマスル
ケレドモ、所謂行政檢束ノ傍ラ事件ノ捜査
ガ行ハレルト云フ風ナ實情ガゴザイマシテ、
而モ其ノ過程ニ於テ色々好マシクナイヤウ
ナ事例モ出マスルコトハ、甚ダ恐縮千萬デ
ゴザイマシテ、慚愧ノ至リニ堪ヘナイ次第
デゴザイマス、併シナガラ經濟統制ノ實施
以來、全國ニ亘リマシテ警察ニ於ケル取調
ベノ狀況ヲ見マスルノミ、只今原サンカラ御
指摘ニナリマシタ、所謂檢束ガ二箇月モ三
箇月モ繼續スルト云フ風ナ事例ハ、實ハ例
外デゴザイマシテ、大多數ノ事件ト云フキ
ノガ、私窓聞デハゴザイマスルケレドモ、
サウ＼＼長ク掛ツテ居ナイ、或ハ一週間ト
カ十日トカ云フ程度デ、大體取調ガ解決付
イテ居ルヤニ見テ居ルノデアリマス、併シ
假令一週間、十日デゴザイマシテモ、而モ
行政檢束ノ方ハ行政執行法ニ依ツテ行ハ
ルノデスカラ不法デハゴザイマセヌ、ケレ
ドモ捜査ノ建前カラ申シマスルト、サウ云
フコトガ正面カラハ認メラレテナイ譯デア
リマスノデ、望マシクナイ、殊ニ人權トノ
關係ニ於テ望マシクナイコトデアリマスル
コトハ、御指摘ノ通りデゴザイマス、併シ
ナガラ最近ニ於キマシテハ、司法當局ニ於
キマシテモ、司法警察官吏ノ指導、教養ト
云フコトニ付テハ、非常ナ歎意ヲ以テ全國

的ニ之ヲ實施致シマシテ、慥力前ニモドナタカノ御質問ニ對シマシテ御説明申上ゲタノデアリマスガ、岩村司法大臣ガ刑事事局長デアラレマス頃ニ、從來ノ實績ニ鑑ミマシテ、司法警察官ノ指導、教養ト云フコトガ非常ニ重要ダ、搜查手續ノ改善ヲスル先ヅ第一步トシテハ、此ノ點ニ重點ヲ置カナケレバナラスト云フコトヲ痛感サレマシテ、實ハ昭和十一年以來、司法警察官吏ニ對シマスル教養訓練ニ付キマシテ豫算ヲ得マシテ、全國的ニ檢事局ソレドヘ熱意ヲ傾ケテ、司法警察官ノ教養、更ニ質的ノ向上、又取調ニ當リマシテ出來ルダケ無理ノナイ取調ヲ致シマスルヤウニ、實ハ努力致シテ居ル譯デス、サウ云フヤウナ關係デゴザイマシテ、最近ニ於キマシテハ司法警察官側ニ於キマシテモ、司法當局ノ考ヘ方ガ相當ニ理解サレマシテ、或ハ不遜ノ言ヒ分カモ知レマセヌガ、全國ヲ通ジマシテ司法警察官ノアリマス、左様ナ次第デゴザイマシテ、戰取調ト云フヤウナコトガ、相當ニ改善サレテ居ルト云フコトヲ確信シテ疑ハナイノデアル、更ニ取調ノ重複等ヲ出來ルダケ避ケル時下ニ於キマシテ、事件ノ關係人ヲシテ出来ルダケ職域ノ奉公ニ差支ヘナイヤウニスル、アノ制限ヲ戰時下ニ限りマシテ緩和ヤウニスルト云フヤウニ致シマスル爲ニハ、戰時下ニ於ケル特例ト致シマシテ、刑事訴訟法ノ第三百四十三條ニ規定致シテ居リマスル、アノ制限ヲ戰時下ニ限りマシテ緩和致シマシテ、一面ニ於テハ檢事、司法警察官ノ取調ニ遺漏ナキヲ期シマスルト共ニ、一面ニ於テハ裁判所ノ事實ノ判断ニ對シマスル點ニ信賴ヲ致シマシテ、證據ノ取捨選擇ヲ誤ラヌヤウニシテ行キマスルコトガ可

ハ此ノ程度ノコトハ國民トシテ辛抱ヲシテ
戴カナケレバナラヌデヤナイカ、斯様ニ今
考ヘマシテ、實ハ戰時刑事特別法ノ第二十
五條ノ規定ヲ設ケマシタ次第デゴザイマス、
原委員カラモ御指摘ノ通りニ、今日現在ニ
於テハ、例ヘバ經濟事件ニ付テハ第一審ハ
出來ルダケ早クヤツテ、控訴審デ色々々ナ
法ヲ盡シテ事實ヲ判明サスノダト云フ風ナ
コトデアリマスガ、此ノ新シイ手續ニ依リ
マシテハ、第一審ニ於テ慎重ナル取調ガナ
サルベキコトガ、實ハ此ノ法案ノ狙ヒ所ニ
ゴザイマシテ、一面ニ於テハ迅速ノ處理ト
云フコトガ眼目デアリマスルケレドモ、併
シ迅速ノ處理ト云フコトト慎重ナル取調ト
云フコトハ決シテ矛盾ハナイ、其ノ點ニ付
テハ今日午前中ニ於テモ司法次官カラ御説
明ガアツタ通りニ、手續ノ運行ノ迅速ヲ圖
ルコトハ當然デゴザイマスルケレドモ、ソ
レト同時ニ事件ノ取調ト云フモノハ慎重ヲ
期セナケレバナラス、又此ノ法案ニ於キマ
シテハサウナルベキコトヲ實ハ望ンデ居リ
マシテ、第一審ノ手續ヲ丁寧ニスル、サウシ
テ事實ノ判断ニ付テ、凡ニル努力ヲ傾ケテ
誤ラザランコトヲ期シマスルト共ニ、又此ノ
新シイ制度ニ於キマシテハ、本日午前中ニ司
法大臣カラ言明サレマシタ通りニ、上告ニ
於ケル事實審理ノ手續ハ出來ルダケ活用シ
テ行キタイト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシ
テ原サンノ仰セノ通りニ、今度ノ案デハ事
實審理ハ一審ダケト云フノデハナインデア
リマス、上告審ニ於キマスル事實審理ノ
手續ヲ十分ニ活用スルコトニ依ツテ事實ハ
判斷ノ正確ヲ期スル、隨ヒマシテ證據ト裁
判ノ問題ニ付キマシテモ、凡ニル努力ヲ拂
ヒマシテ、其ノ過誤ナキヲ期シタイ、斯様

ニ考へマシテ、此ノ案ヲ立案シタ次第デゴザイマシテ、原サンノヤウナ御心配ノ點ハ、運用上ニ於キマシテ萬々ナイヤウニ最善ノ努力ヲシテ行ク積リデゴザイマス、左様ナ點ニ付キマシテハ、ドウゾ一ツ御諒承賜ハリタイト存ズル次第デアリマス。

○原(夫)委員 大變鄭重ナル御答辯ヲ得マシタガ、唯私司法當局デ、行政執行法ノ運用ト犯罪捜査トノ關係ニ付テ現在マデニヤツテ居ルコトニ付テハ、改善ノ途ガ今マデニナカツタコトヲ遺憾トスルト云フ、其ノ遺憾トセラレル點ヲ以テ、直チニ此ノ度ノ提案ニ其ノ儘遺憾ノ殘ツテ居ル從來ノ訴訟手續ニ付テ、區裁判所ヲ殆ド專屬のニ第一審トスル、斯ウ云フ點ガ實ハ私ガ御尋ネ致シタ重點デアリマスルガ、一體此ノ問ヲ發スルノハ、在野法曹等モ一層ノコト經濟事犯ノ大小別トシテ稍々重イモノニ付テハ第一審ヲ地方裁判所ニスル、サウシテソレニ對シテ上告ハ現在ノ通り上告裁判所タル大審院ニ持ツテ行ク方ガ一番穩當ナヤリ方デハナイカ、國民ノ目カラ見マスルト、洵ニ相濟マナイケレドモ、國民ノ常識ニナツテ居ルノハ、區裁判所ヲサウマデ重要機關トシテ居ナイノデス、違警罪ノ事件ヲ取扱フトカ、竊盜トカ、極ク小サナ事件ダケシカヤラナイ、地方裁判所ニナルト、三人ノ判事サンデ、是ガ本當ノ我ガ國ノ所謂第一審ト云フ風ニ國民ノ意識ニ深ク入ツテ居ル、ソレヲ事件ガ多イカラ區裁判所デ慎重ニハ取調ベラスルガ、他面ニ於テ促進ラスル、ソレニハ區裁判所ノ方ガ進ミガ宜イ、斯ウ云フノデ立案セラレタコトト思フ、他面ニ於テ其ノ司法裁判ノコトガ、如何ニモ國家ノ行政ニ於テ重大ナ基本行政デアリマ

シテ、所謂司法權ハ、憲法デモ別ナ章ヲ置
イテ規定シテアルト云フヤウナ關係デ、ソ
レガドウモ輕視セラレタ感ガアル、端的ニ
申シマスト、地方裁判所ニ大體ノ經濟統制
ヲ管轄サシテ、サウシテ先程刑事局長ノ言
ハレタヤウナ地方ノ法律違反ノ點ヲ管轄
シ、併セテ上告審ニ持ツテ行ク、是ガ一番
本然ナ建前デアリハシナイカト思ハレル、
斯クナルト控訴審ガ假令減ツテモ、御話ノ
如ク大審院ガ出來ルダケ事實審理ヲヤルト
云フコトニナレバ、是ハ事實竝ニ法律兩方
トモ非常ニ裁判ノ威信ヲ保持スル所以デア
ラウト思ハレル、ソレニ付キマシテ假定論
デハ御答ヘガ出來ヌカモ知レマセヌガ、サ
ウ云フ意見ニ對スル政府ノ所見如何、之ヲ
一ツ伺ツテ置キタイ

○大森政府委員 只今御質問ニナリマシタ
コトト同様ノ御趣旨ガ前回御質問ナリ或ハ
御注意ナリニ現ハレマシテ、今朝司法大臣
ヨリ其ノ御質問ニ對シテ御答ヘラ致シタノ
デアリマスルガ、モウ一度其ノ要點ダケヲ
私カラ申上ゲマス、ソレハ第二ノ問題デア
リマシテ、御質問ハ、本刑事手續ニ於テ經
濟事件ノ相當重要ナルモノハ、地方裁判所
ニ起訴スルヤウ運用スル意思ナキカト云フ
ノデアリマシテ、之ニ對スル御答ヘト致シマ
シテ、豫審ヲ必要トスル事件ニ付テハ勿論、
然ラザル事件ニ在リマシテモ、其ノ内容ニ
鑑ミ地方裁判所ニ起訴スルノ運用方針ヲ立
テ、其ノ趣旨ヲ部内ニ十分徹底セシメル所
存デアリマス、是ガ今朝司法大臣ノ皆様ニ
申述ベタ所デアリマス、今ソレニ關聯致シ
マシテ、上告審ノ作用ニ付テノ御陳述モア
リマシタ、ソレガ丁度ヤハリ今朝程司法大
臣ヨリ御答ヘ致シマシク第四ノ問題ニ當ツ

テ居ルヤウデアリマス、第四ノ問題ハ、區

裁判所ヲ第一審トスル上告事件ニ付テ、特

ニ事實認定ニ誤審ナキカ否ヤ、刑ノ量定ガ適

正妥當ナリヤ否ヤニ付キ、從來ノ上告審以上

ニ留意スルヤウ訓令又ハ司法官會同等ニ依

リ注意スル意思アリヤ否ヤト云フ御尋ネデ

アリマシテ、之ニ對スル御答ヘデアリマス

ルガ、本案ハ上告審ニ於ケル事實ノ認定及

ビ刑ノ量定ニ付テハ、之ニ關スル刑事訴訟

法ノ規定ヲ十分ニ活用スルノ趣旨ノ下ニ立

案シタモノデアリマシテ、右立案ノ趣旨ハ、

司法官會同其ノ適當ノ機會ニ十分分之ヲ説

明シ、萬遺漏ナキヲ期スル積リデアリマス、

是亦司法大臣ヨリ申述ベタ御答ヘデアリマ

ス、サウシテ此ノ第四問ハ、區裁判所ヲ第

一審トスル上告事件ニ付テノヤウデアリマ

スケレドモ、此ノ御答ヘハ總テ本案ニ於テ

上告審、詰リ控訴審省略後ノ問題ニ付テ一

般ニ御答ヘラ致シタ積リデアリマス、右

申添ヘテ置ク次第デアリマス

○原(夫)委員 只今大森サンカラノ御言葉

ハ、私モ御配付ニナツタ参考書ニ依ツテ拜

見致シテ居ルノデスガ、私ノ御尋ネシタイ

ノハソコデハナイノデス、ソレハ本法ノ此

ノ改正ガ問題ナシニス、司法官ノ會同其ノ

他デ訓示スルト言ウテモ、サウ云フ重要點

ヲ——法律ニ依ルニアラザレバ運用ノ妙ト

云フヤウナコトヲ言ウテモ、中々容易ニ出

來ルコトデヤナイト私ハ認ヌマシタカラ、

ソレデ今私ノ御尋ネシタノハ、本法ノ改正

ノ問題ナノデス、併シソレ以上ニ強ヒテ答

辯ヲ求メナイデモ宜シノデアリマス

序ニ裁判所構成法ニ關聯シタ問題デアリ

マスガ、構成法ノ第五條ノ末項ニ「裁判所

構成法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ

クナイ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニアリマシテ、自分達ガ其ノ意見ニ從ヒタ

クナシ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニハ、逆ニ控訴院カラ大審院ニ事件ヲ移シ

マシテ、大審院デ裁判ヲシテ貴フト云フコ

トガーツ、又同様ノコトガ斯様ナ場合ニモ

起ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト東

京控訴院ガ上告裁判所トシテ事件ヲ處理致

シマス、傍テ東京控訴院ガ裁判シヨウトス

ニ對スル上告ニ付テハ控訴院其ノ裁判權ヲ

有ス」ト云フ所カラ、裁判所構成法ノ四十

八條ノ規定ガ控訴院ノ上告審ニナツタ、之

ヲ準用スルト云フコトデ、是ハ御尤モト思

フノデスガ、詰リ判断ヲ控訴院デナシタラ

ルガ、本案ハ上告審ニ於ケル事實ノ認定及

ビ刑ノ量定ニ付テハ、之ニ關スル刑事訴訟

法ノ規定ヲ十分ニ活用スルノ趣旨ノ下ニ立

案シタモノデアリマシテ、右立案ノ趣旨ハ、

司法官會同其ノ適當ノ機會ニ十分分之ヲ説

明シ、萬遺漏ナキヲ期スル積リデアリマス、

是亦司法大臣ヨリ申述ベタ御答ヘデアリマ

ス、サウシテ此ノ第四問ハ、區裁判所ヲ第

一審トスル上告事件ニ付テノヤウデアリマ

スケレドモ、此ノ御答ヘハ總テ本案ニ於テ

上告審、詰リ控訴審省略後ノ問題ニ付テ一

般ニ御答ヘラ致シタ積リデアリマス、右

申添ヘテ置ク次第デアリマス

○原(夫)委員 只今大森サンカラノ御言葉

ハ、私モ御配付ニナツタ参考書ニ依ツテ拜

見致シテ居ルノデスガ、私ノ御尋ネシタイ

ノハソコデハナイノデス、ソレハ本法ノ此

ノ改正ガ問題ナシニス、司法官ノ會同其ノ

他デ訓示スルト言ウテモ、サウ云フ重要點

ヲ——法律ニ依ルニアラザレバ運用ノ妙ト

云フヤウナコトヲ言ウテモ、中々容易ニ出

來ルコトデヤナイト私ハ認ヌマシタカラ、

ソレデ今私ノ御尋ネシタノハ、本法ノ改正

ノ問題ナノデス、併シソレ以上ニ強ヒテ答

辯ヲ求メナイデモ宜シノデアリマス

序ニ裁判所構成法ニ關聯シタ問題デアリ

マスガ、構成法ノ第五條ノ末項ニ「裁判所

構成法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ

クナイ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニアリマシテ、自分達ガ其ノ意見ニ從ヒタ

クナシ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニハ、逆ニ控訴院カラ大審院ニ事件ヲ移シ

マシテ、大審院デ裁判ヲシテ貴フト云フコ

トガーツ、又同様ノコトガ斯様ナ場合ニモ

起ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト東

京控訴院ガ上告裁判所トシテ事件ヲ處理致

シマス、傍テ東京控訴院ガ裁判シヨウトス

ニ對スル上告ニ付テハ控訴院其ノ裁判權ヲ

有ス」ト云フ所カラ、裁判所構成法ノ四十

八條ノ規定ガ控訴院ノ上告審ニナツタ、之

ヲ準用スルト云フコトデ、是ハ御尤モト思

フノデスガ、詰リ判断ヲ控訴院デナシタラ

ルガ、本案ハ上告審ニ於ケル事實ノ認定及

ビ刑ノ量定ニ付テハ、之ニ關スル刑事訴訟

法ノ規定ヲ十分ニ活用スルノ趣旨ノ下ニ立

案シタモノデアリマシテ、右立案ノ趣旨ハ、

司法官會同其ノ適當ノ機會ニ十分分之ヲ説

明シ、萬遺漏ナキヲ期スル積リデアリマス、

是亦司法大臣ヨリ申述ベタ御答ヘデアリマ

ス、サウシテ此ノ第四問ハ、區裁判所ヲ第

一審トスル上告事件ニ付テノヤウデアリマ

スケレドモ、此ノ御答ヘハ總テ本案ニ於テ

上告審、詰リ控訴審省略後ノ問題ニ付テ一

般ニ御答ヘラ致シタ積リデアリマス、右

申添ヘテ置ク次第デアリマス

○原(夫)委員 只今大森サンカラノ御言葉

ハ、私モ御配付ニナツタ参考書ニ依ツテ拜

見致シテ居ルノデスガ、私ノ御尋ネシタイ

ノハソコデハナイノデス、ソレハ本法ノ此

ノ改正ガ問題ナシニス、司法官ノ會同其ノ
他デ訓示スルト言ウテモ、サウ云フ重要點
ヲ——法律ニ依ルニアラザレバ運用ノ妙ト

云フヤウナコトヲ言ウテモ、中々容易ニ出

來ルコトデヤナイト私ハ認ヌマシタカラ、

ソレデ今私ノ御尋ネシタノハ、本法ノ改正

ノ問題ナノデス、併シソレ以上ニ強ヒテ答

辯ヲ求メナイデモ宜シノデアリマス

序ニ裁判所構成法ニ關聯シタ問題デアリ

マスガ、構成法ノ第五條ノ末項ニ「裁判所

構成法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ

クナイ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニアリマシテ、自分達ガ其ノ意見ニ從ヒタ

クナシ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニハ、逆ニ控訴院カラ大審院ニ事件ヲ移シ

マシテ、大審院デ裁判ヲシテ貴フト云フコ

トガーツ、又同様ノコトガ斯様ナ場合ニモ

起ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト東

京控訴院ガ上告裁判所トシテ事件ヲ處理致

シマス、傍テ東京控訴院ガ裁判シヨウトス

ニ對スル上告ニ付テハ控訴院其ノ裁判權ヲ

有ス」ト云フ所カラ、裁判所構成法ノ四十

八條ノ規定ガ控訴院ノ上告審ニナツタ、之

ヲ準用スルト云フコトデ、是ハ御尤モト思

フノデスガ、詰リ判断ヲ控訴院デナシタラ

ルガ、本案ハ上告審ニ於ケル事實ノ認定及

ビ刑ノ量定ニ付テハ、之ニ關スル刑事訴訟

法ノ規定ヲ十分ニ活用スルノ趣旨ノ下ニ立

案シタモノデアリマシテ、右立案ノ趣旨ハ、

司法官會同其ノ適當ノ機會ニ十分分之ヲ説

明シ、萬遺漏ナキヲ期スル積リデアリマス、

是亦司法大臣ヨリ申述ベタ御答ヘデアリマ

ス、サウシテ此ノ第四問ハ、區裁判所ヲ第

一審トスル上告事件ニ付テノヤウデアリマ

スケレドモ、此ノ御答ヘハ總テ本案ニ於テ

上告審、詰リ控訴審省略後ノ問題ニ付テ一

般ニ御答ヘラ致シタ積リデアリマス、右

申添ヘテ置ク次第デアリマス

○原(夫)委員 只今大森サンカラノ御言葉

ハ、私モ御配付ニナツタ参考書ニ依ツテ拜

見致シテ居ルノデスガ、私ノ御尋ネシタイ

ノハソコデハナイノデス、ソレハ本法ノ此

ノ改正ガ問題ナシニス、司法官ノ會同其ノ

他デ訓示スルト言ウテモ、サウ云フ重要點

ヲ——法律ニ依ルニアラザレバ運用ノ妙ト

云フヤウナコトヲ言ウテモ、中々容易ニ出

來ルコトデヤナイト私ハ認ヌマシタカラ、

ソレデ今私ノ御尋ネシタノハ、本法ノ改正

ノ問題ナノデス、併シソレ以上ニ強ヒテ答

辯ヲ求メナイデモ宜シノデアリマス

序ニ裁判所構成法ニ關聯シタ問題デアリ

マスガ、構成法ノ第五條ノ末項ニ「裁判所

構成法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ

クナイ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニアリマシテ、自分達ガ其ノ意見ニ從ヒタ

クナシ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニハ、逆ニ控訴院カラ大審院ニ事件ヲ移シ

マシテ、大審院デ裁判ヲシテ貴フト云フコ

トガーツ、又同様ノコトガ斯様ナ場合ニモ

起ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト東

京控訴院ガ上告裁判所トシテ事件ヲ處理致

シマス、傍テ東京控訴院ガ裁判シヨウトス

ニ對スル上告ニ付テハ控訴院其ノ裁判權ヲ

有ス」ト云フ所カラ、裁判所構成法ノ四十

八條ノ規定ガ控訴院ノ上告審ニナツタ、之

ヲ準用スルト云フコトデ、是ハ御尤モト思

フノデスガ、詰リ判断ヲ控訴院デナシタラ

ルガ、本案ハ上告審ニ於ケル事實ノ認定及

ビ刑ノ量定ニ付テハ、之ニ關スル刑事訴訟

法ノ規定ヲ十分ニ活用スルノ趣旨ノ下ニ立

案シタモノデアリマシテ、右立案ノ趣旨ハ、

司法官會同其ノ適當ノ機會ニ十分分之ヲ説

明シ、萬遺漏ナキヲ期スル積リデアリマス、

是亦司法大臣ヨリ申述ベタ御答ヘデアリマ

ス、サウシテ此ノ第四問ハ、區裁判所ヲ第

一審トスル上告事件ニ付テノヤウデアリマ

スケレドモ、此ノ御答ヘハ總テ本案ニ於テ

上告審、詰リ控訴審省略後ノ問題ニ付テ一

般ニ御答ヘラ致シタ積リデアリマス、右

申添ヘテ置ク次第デアリマス

○原(夫)委員 只今大森サンカラノ御言葉

ハ、私モ御配付ニナツタ参考書ニ依ツテ拜

見致シテ居ルノデスガ、私ノ御尋ネシタイ

ノハソコデハナイノデス、ソレハ本法ノ此

ノ改正ガ問題ナシニス、司法官ノ會同其ノ

他デ訓示スルト言ウテモ、サウ云フ重要點

ヲ——法律ニ依ルニアラザレバ運用ノ妙ト

云フヤウナコトヲ言ウテモ、中々容易ニ出

來ルコトデヤナイト私ハ認ヌマシタカラ、

ソレデ今私ノ御尋ネシタノハ、本法ノ改正

ノ問題ナノデス、併シソレ以上ニ強ヒテ答

辯ヲ求メナイデモ宜シノデアリマス

序ニ裁判所構成法ニ關聯シタ問題デアリ

マスガ、構成法ノ第五條ノ末項ニ「裁判所

構成法第四十八條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ

クナイ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ニアリマシテ、自分達ガ其ノ意見ニ從ヒタ

クナシ、即チ新判例ヲ作リタイト云フ場合

ラレタカドウカ、兎ニ角法律問題ニ付テハ
大審院一本ト云フコトニナツテ、殊ニ構成
法ハ制定セラレタ歴史ニ鑑ミテ、サウ云フ
判例ガ區々ニナルコトノアルコトヲ豫想シ
テ、只今ノ構成法ノ規定、即チ大審院内ニ
於テ先ニ出シタル法律解釋ガ、後ノ裁判事
件ニ付テ異ナルト云フ意見ニ付テハ、大審
院長ガ部長會議ヲヤルトカ、新判例ヲ改正
スルトカ云フ特別ナ手續法ヲ執レト云フコ
トハ、大審院ダケニ命ジテ居ル規定ナノデ
アリマス、控訴院ノ上告事件ニ付テハ、サ
ウ云フ豫想ヲシテ居テモ、事實審タルガ故
ニサウ云フヤウナコトニ除外シテ居ツタ規
定ガアルノデスガ、此ノ規定カラ見ルト更
ニ法律問題ニ付テ法律問題ヲ取上ガルト云
フ建前カラ非常ニ事柄ガ煩瑣ニナツテ、サ
ウ云フ判例ト違フ場合ニ於テハ大審院ガ取
上ゲル、斯ウ云フ風ニ特例ヲ設ケラレタノ
デスガ、是ハ法律統一ト云フ着眼點ダケデ
アルノデスカ、或ハ他ニ理由ガアルカ、ソ
レダケヲ承ツテ置キタイ

ノ權威ノ上カラ云ツテモ蓋シ當然ダラウト
思ヒマシテ、第五條ノ末項ヲ置イタ次第デ
アリマス、又第六條ハ只今モ御指摘ニナリ
訴院ガ競ツテ大審院判決ト異ナレル判決ヲ
シタト云フヤウナ御話デアリマシテ、私ハ
其ノ當時ノ實情ハ知リマセスケレドモ、ヤ
ハリ是ハ法律解釋ノ統一ト云フコトニ重キ
ヲ置クベキコトハ裁判制度上當然デアラウ
ト思ヒマス、其ノ必要カラ多少煩瑣ニハナ
リマスケレドモ、斯様ナ規定ヲ置イタ次第
デアリマス、右ノ點御諒承ヲ願ヒタイノデ
アリマス

○北浦委員 私が過日大藏當局ニ質問致シ
マシタ點ハ、十分御同情ヲ以ツテ御聽キヨ
願ヒタイ、ソコデ御伺ヒ致シタイノデゴザ
大臣トノ間ニ裁判所書記以下ニ對シテ特別
手當ヲ支給スル、斯ウ云フ約束ハ大藏當局
ハ知ラナカツタトノ趣旨ノ答辯ガアツクナ
デアリマス、ソコデ私ハ、是ハ現ニ司法部
内ノ刑務所關係ハ實行サレテ居ルノデゴザ
イマスガ、ソレヲ大藏當局ニ於カレテハ御
存ジナイ、前總理大臣近衛公ガ、議會ニ於
キマシテモ、國民ニ對シマシテモ、今回ノ
事變ニ於テハ最高ノ榮譽ト最低ノ國民生活
トヲ保障スル、是ハ大キナ公約デゴザイマス、
スカラ、御想起願フコトガ出來ルダラウト
思ヒマス、ソコデ最低ノ生活保障デゴザイ
マスガ、此ノ點ハ再び申上ダマスルカラ御
同情ヲ以テ御聽キヲ願ヒタイノデアリマス、
方ニ參リマスト立派ナ「インテリ」階級デ、
裁判所書記デスガ、實ニ十年以上二十年以
下勤メマシテ僅カニ六十三圓、能ク御記憶
ヲ願ヒタイ、トコロデ此ノ裁判所書記ハ地
子供ハ女學校ニ入レタイ、中學校ニモ入レ
タイト云フノデアリマスガ、ドウシテ是ガ
入レマスカ、其ノ地位ニ於ケル最低生活ノ
保障ト云フコトガ出來ルカドウカ、二十年
カラ三十年勤メマシテ八十二圓、是ハ平均
額デスヨ、御承知ノ通り戰前カラ今日ニ至
ルマデ總テノモノガ皆政府ノ低物價政策ニ
拘ラズ三倍ニナツテ居リマス、ドウシテ是
デヤツテ行ケマスカ、ソレカラ廷丁、是ハ
リニ殘酷ダ、十年以上二十年以下勤メマシテ

メマシテ四十五圓、私ノ知ツテ居リマス限りニ於キマシテ、昔ハ是ハ午後五時頃仕事ヲ終ヘマシテ、大阪アタリデハ晩ハ別ニ仕事ハ致シマセヌ、此ノ頃ハ出來マセヌ、餽飪ヲ賣リニ行カウニモ其ノ材料ガナクナツテ居ル、是デドウシテヤツテ行ケマスカ、之ヲ質問致シマスト、外ニ手當ガアルデハナイカ、家族手當、宿直料ヲ支給シテ居ルト言ハレル、所ガ家族手當ハ年齢ニ制限ガアリマスシ、宿直料ハ誰デモ貰ツテ居ル、昨年ハ小學校教員、巡查、看守、斯ウ云フ人達ニ特別手當ガ支給サレタ、今年ハ是非共御同情ヲ以チマシテ、昨年ノ約束ハ御存ジナカツタカモ知レナイガ是ハ近衛前總理大臣ノ所謂國民ノ最低ノ生活保障、此ノ事ヲ一ツヤツテ戴キタイ、且ツ大藏當局ハサウ云フコトハ考ヘテ居ナイト云フ御話デアリマシタガ、是ガ事實ナノデアリマスルカラ、今一應御意見ヲ伺ヒマシテ、是非此ノ事ハ臨時手當ト致シマシテ、月額十圓デモ結構デゴザイマスルカラ今年度ニ於テ實施サレンコトヲ熱望致シマス、御意見如何デアリマス

ノデ、待遇改善の問題其の他色々アル
ノデアリマスルガ、其ノ事ヲ總テ希望通り
ニヤル譯ニモ參リマセヌシ、又百「ペー^セ
ント」實行スル譯ニモ參ラナイノデアリマ
ス、併シ此ノ司法省ノ下級職員ノ待遇ノ問
題ニ付キマシテモ、今私ガ申上ゲタヤウナ
點ハ勿論是ハ深ク考慮シナケレバナリマセ
ス、即チ財政ノ狀況、戰爭目的ノ完遂ニ凡
ユルモノヲ集中スルト云フコトモ深ク考ヘナ
ケレバナリマセヌガ、之ヲ深ク考ヘツ出
來ルダケノコトハ致シタイト思フノデアリ
マス、ソコデ此ノ間高橋議員ニモ詳細申
上ゲマシタヤウニ、待遇ノ改善ノ問題ニ付
キマシテモ、司法省御當局ノ御要求ニ依リ
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
財政狀態ノ際デアリマスルガ、相當ナコト
ハヨコニ、三年來實行致シ、參ツテ居る積
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
シテハ、相當ノ經費ヲ此ノ爲ニ計上致シテ
居ルノデアリマス、待遇改善ノ問題ニ付キ
マシテハ、色々な方法ガアリマシテ、或ル
一ツノ手當ト云フヤウナモノヲ殖ヤスト云
フノモ一ツノ方法デアリマスルガ、又先日
申上ゲタヤウニ其ノ人達ヲ一階級上ノ階級
ニ就キ得ル途ヲ開クト云フコトモ、明カニ
待遇改善ノ一ツシテ舉ゲ得ルノデハナイ
カ、最モ適當ナル待遇ノ改善ノ方法デハナ
イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ
ハ私カラ最近行ヒマシタ所ノ數個ノ點ニ付
キマシテ、此ノ間申上ゲタノニ依ツテ御諒
承願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ待遇
改善ノ問題ハ、此ノ間モ一寸申上ゲタノデ
アリマスルガ、非常ニ「デリケート」ナ問題デ
ゴザイマシテ、或ル階級ノ人々ガ同情スベ
キ狀態ニアリト致シマシテモ、其ノ人達ノ

點ハ勿論是ハ深ク考慮シナケレバナリマセ
ス、即チ財政ノ狀況、戰爭目的ノ完遂ニ凡
ユルモノヲ集中スルト云フコトモ深ク考ヘナ
ケレバナリマセヌガ、之ヲ深ク考ヘツ出
來ルダケノコトハ致シタイト思フノデアリ
マス、ソコデ此ノ間高橋議員ニモ詳細申
上ゲマシタヤウニ、待遇ノ改善ノ問題ニ付
キマシテモ、司法省御當局ノ御要求ニ依リ
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
シテハ、相當ノ經費ヲ此ノ爲ニ計上致シテ
居ルノデアリマス、待遇改善ノ問題ニ付キ
マシテハ、色々な方法ガアリマシテ、或ル
一ツノ手當ト云フヤウナモノヲ殖ヤスト云
フノモ一ツノ方法デアリマスルガ、又先日
申上ゲタヤウニ其ノ人達ヲ一階級上ノ階級
ニ就キ得ル途ヲ開クト云フコトモ、明カニ
待遇改善ノ一ツシテ舉ゲ得ルノデハナイ
カ、最モ適當ナル待遇ノ改善ノ方法デハナ
イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ
ハ私カラ最近行ヒマシタ所ノ數個ノ點ニ付
キマシテ、此ノ間申上ゲタノニ依ツテ御諒
承願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ待遇
改善ノ問題ハ、此ノ間モ一寸申上ゲタノデ
アリマスルガ、非常ニ「デリケート」ナ問題デ
ゴザイマシテ、或ル階級ノ人々ガ同情スベ
キ狀態ニアリト致シマシテモ、其ノ人達ノ

點ハ勿論是ハ深ク考慮シナケレバナリマセ
ス、即チ財政ノ狀況、戰爭目的ノ完遂ニ凡
ユルモノヲ集中スルト云フコトモ深ク考ヘナ
ケレバナリマセヌガ、之ヲ深ク考ヘツ出
來ルダケノコトハ致シタイト思フノデアリ
マス、ソコデ此ノ間高橋議員ニモ詳細申
上ゲマシタヤウニ、待遇ノ改善ノ問題ニ付
キマシテモ、司法省御當局ノ御要求ニ依リ
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
シテハ、相當ノ經費ヲ此ノ爲ニ計上致シテ
居ルノデアリマス、待遇改善ノ問題ニ付キ
マシテハ、色々な方法ガアリマシテ、或ル
一ツノ手當ト云フヤウナモノヲ殖ヤスト云
フノモ一ツノ方法デアリマスルガ、又先日
申上ゲタヤウニ其ノ人達ヲ一階級上ノ階級
ニ就キ得ル途ヲ開クト云フコトモ、明カニ
待遇改善ノ一ツシテ舉ゲ得ルノデハナイ
カ、最モ適當ナル待遇ノ改善ノ方法デハナ
イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ
ハ私カラ最近行ヒマシタ所ノ數個ノ點ニ付
キマシテ、此ノ間申上ゲタノニ依ツテ御諒
承願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ待遇
改善ノ問題ハ、此ノ間モ一寸申上ゲタノデ
アリマスルガ、非常ニ「デリケート」ナ問題デ
ゴザイマシテ、或ル階級ノ人々ガ同情スベ
キ狀態ニアリト致シマシテモ、其ノ人達ノ

點ハ勿論是ハ深ク考慮シナケレバナリマセ
ス、即チ財政ノ狀況、戰爭目的ノ完遂ニ凡
ユルモノヲ集中スルト云フコトモ深ク考ヘナ
ケレバナリマセヌガ、之ヲ深ク考ヘツ出
來ルダケノコトハ致シタイト思フノデアリ
マス、ソコデ此ノ間高橋議員ニモ詳細申
上ゲマシタヤウニ、待遇ノ改善ノ問題ニ付
キマシテモ、司法省御當局ノ御要求ニ依リ
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
シテハ、相當ノ經費ヲ此ノ爲ニ計上致シテ
居ルノデアリマス、待遇改善ノ問題ニ付キ
マシテハ、色々な方法ガアリマシテ、或ル
一ツノ手當ト云フヤウナモノヲ殖ヤスト云
フノモ一ツノ方法デアリマスルガ、又先日
申上ゲタヤウニ其ノ人達ヲ一階級上ノ階級
ニ就キ得ル途ヲ開クト云フコトモ、明カニ
待遇改善ノ一ツシテ舉ゲ得ルノデハナイ
カ、最モ適當ナル待遇ノ改善ノ方法デハナ
イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ
ハ私カラ最近行ヒマシタ所ノ數個ノ點ニ付
キマシテ、此ノ間申上ゲタノニ依ツテ御諒
承願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ待遇
改善ノ問題ハ、此ノ間モ一寸申上ゲタノデ
アリマスルガ、非常ニ「デリケート」ナ問題デ
ゴザイマシテ、或ル階級ノ人々ガ同情スベ
キ狀態ニアリト致シマシテモ、其ノ人達ノ

點ハ勿論是ハ深ク考慮シナケレバナリマセ
ス、即チ財政ノ狀況、戰爭目的ノ完遂ニ凡
ユルモノヲ集中スルト云フコトモ深ク考ヘナ
ケレバナリマセヌガ、之ヲ深ク考ヘツ出
來ルダケノコトハ致シタイト思フノデアリ
マス、ソコデ此ノ間高橋議員ニモ詳細申
上ゲマシタヤウニ、待遇ノ改善ノ問題ニ付
キマシテモ、司法省御當局ノ御要求ニ依リ
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
シテハ、相當ノ經費ヲ此ノ爲ニ計上致シテ
居ルノデアリマス、待遇改善ノ問題ニ付キ
マシテハ、色々な方法ガアリマシテ、或ル
一ツノ手當ト云フヤウナモノヲ殖ヤスト云
フノモ一ツノ方法デアリマスルガ、又先日
申上ゲタヤウニ其ノ人達ヲ一階級上ノ階級
ニ就キ得ル途ヲ開クト云フコトモ、明カニ
待遇改善ノ一ツシテ舉ゲ得ルノデハナイ
カ、最モ適當ナル待遇ノ改善ノ方法デハナ
イカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ
ハ私カラ最近行ヒマシタ所ノ數個ノ點ニ付
キマシテ、此ノ間申上ゲタノニ依ツテ御諒
承願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ待遇
改善ノ問題ハ、此ノ間モ一寸申上ゲタノデ
アリマスルガ、非常ニ「デリケート」ナ問題デ
ゴザイマシテ、或ル階級ノ人々ガ同情スベ
キ狀態ニアリト致シマシテモ、其ノ人達ノ

點ハ勿論是ハ深ク考慮シナケレバナリマセ
ス、即チ財政ノ狀況、戰爭目的ノ完遂ニ凡
ユルモノヲ集中スルト云フコトモ深ク考ヘナ
ケレバナリマセヌガ、之ヲ深ク考ヘツ出
來ルダケノコトハ致シタイト思フノデアリ
マス、ソコデ此ノ間高橋議員ニモ詳細申
上ゲマシタヤウニ、待遇ノ改善ノ問題ニ付
キマシテモ、司法省御當局ノ御要求ニ依リ
マシテ、私共ノ方ト致シマシテモ斯ウ云フ
シテハ、相當ノ經費ヲ此ノ爲ニ計上致シテ
居ルノデアリマス、待遇改善ニ付テモノ既ニ相當時メテ
級職員ノ待遇改善ニ付テモノ既ニ相當時メテ
此ノ間モ申上ゲマシタヤウニ、司法省ノ下
級職員ノ待遇改善ニ付テモノ既ニ相當時メテ
居ルノデアリマスガ、併シ漸々逐ツテ之ヲ實
行シテ行クヨリ仕方ガナイノデアリマス、殊
私ガ此ノ間申上ゲタコト、又只今申上ゲマ
シタ所ニ依ツテ、意ノ在ル所ヲ御諒承願ヒ
タイト思ヒマス

○北浦委員 財政狀況モサルコトデアリマ
スガ、是ハ本當ニ知レ居ル、極ク少イ、
裁判所書記、廷丁ト云フモノハ數ガ少イ、
財政狀況ニ對シテ大シテ影響ヲ及ボス
モノデハアリマセヌ、ソレカラ戰爭ニ勝
タナケレバナラヌコトハ如何ニモ其ノ通り
ニ對シテ、臨時手當ヲ與ヘテ下サツタカラ
ト云ツテ、別ニ他ニ影響シ波及スルト云フ
コトハ斷ジテアリマセヌ、現ニアナタノ方
デハ既ニ刑務所ノ役人ニハ昨年臨時手當ヲ
與ヘテ下サツタ、モウ暫ク内閣サヘ送ラナカ
ツカラ是ガ實行サレテ居ルト聞イテ居ル、
ソレヲ途中デ御止メニナツテ、今年ニナツ
テサウ云フ話ハ聞カナイトカ、今仰シヤ
ツテ行ケナイ、サウ云フモノヲ倍ニスル、
併シ此ノ點ハ今政府委員ガ此ノ場ニ於テ、
ソレデハ約束シヨウト云フコトモ、仰シヤ
ウナ理由デ不得要領ナ御返事ヲ戴クト云
フコトハ、淘ニ私遺憾千萬デゴザイマス、
併シ此ノ點ハ今政府委員ガ此ノ場ニ於テ、
ソレデハ約束シヨウト云フコトモ、仰シヤ
ウナ理由デ不得要領ナ御返事ヲ戴クト云
フコトハ、淘ニ私遺憾千萬デゴザイマス、
兎ニ角大藏大臣ト能ク御相談願ツテ成ベク
實行スルヤウニスル、成ベクデ結構デスカ
ラモウ少シク要領ヲ得テ——何カ御同情下
際ニ即シテ事實ヲ十分知ツテ、一面ニハ社
會ノ狀態ト相照應セシメル必要上カラ、國
民代表トシテノ意見デアルカラ、是ハドウ
カ大藏當局トシテハ速カニ實行スルヤウニ
シテ戴キタイ、北浦君ガ聽カレマシタ時
ニ、ソレハドウモ自分ノ方ノ關係デナイカ
ラ知ラヌ、斯ウ云フコトハ政府議會一體
ナリト云フ建前カラ見タラバ、餘り穩當
ナ言葉デナイダラウカト思ヒマスカラ、ド
ウカ過去ハ仕方ガナイガ、是カラハ是非

○木内政府委員 只今北浦委員ノ御述ベニ
シテ、私カラモ大藏當局ニ申上ゲテ見マス、
ト云フノハ此ノ委員會ノ委員各位ノ空氣ト
シテ、私カラモ大藏當局ニ申上ゲテ見マス、
モアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ能ク上ノ
處スルト云フ御答ヘデアツタノデアリマス、
勿論波及スルト云フコトハ私モ考ヘテ居リ
マスケレドモ、大藏當局モ御承知ノ通り、
今日ハ瀆職罪ト云フモノガ非常ニ多イ、唯
裁判所ノ書記トカ廷丁ニ限ツテハ左様ナ者
ハアリマセヌ、少々ハアルカモ知レマセヌ
ガ、廷丁ナンカニハサウ云フ者ハ一人モ居
ナイト私ハ斷言シ得ル、サウシテ蔭ニ隠レ
テ孜々營々努力メテ居リマスガ、聲ヲ揚ゲ
ルコトガ出來ナイ、揚ゲレバ上司ニ叱ラレ
ル、ソコデ聲ヲ揚ゲルコトガ出來ナイカラ
黙ツテ俯イテ働イテ居ル、此ノ雇員竝ニ廷
丁、書記、此ノ三ツノ役ヲ勤メテ居ル人々
ニ對シテ、臨時手當ヲ與ヘテ下サツタカラ
ト云ツテ、別ニ他ニ影響シ波及スルト云フ
コトハ斷ジテアリマセヌ、現ニアナタノ方
デハ既ニ刑務所ノ役人ニハ昨年臨時手當ヲ
與ヘテ下サツタ、モウ暫ク内閣サヘ送ラナカ
ツカラ是ガ實行サレテ居ルト聞イテ居ル、
ソレヲ途中デ御止メニナツテ、今年ニナツ
テサウ云フ話ハ聞カナイトカ、今仰シヤ
ツテ行ケナイ、サウ云フモノヲ倍ニスル、
併シ此ノ點ハ今政府委員ガ此ノ場ニ於テ、
ソレデハ約束シヨウト云フコトモ、仰シヤ
ウナ理由デ不得要領ナ御返事ヲ戴クト云
フコトハ、淘ニ私遺憾千萬デゴザイマス、
併シ此ノ點ハ今政府委員ガ此ノ場ニ於テ、
ソレデハ約束シヨウト云フコトモ、仰シヤ
ウナ理由デ不得要領ナ御返事ヲ戴クト云
フコトハ、淘ニ私遺憾千萬デゴザイマス、
兎ニ角大藏大臣ト能ク御相談願ツテ成ベク
實行スルヤウニスル、成ベクデ結構デスカ
ラモウ少シク要領ヲ得テ——何カ御同情下
際ニ即シテ事實ヲ十分知ツテ、一面ニハ社
會ノ狀態ト相照應セシメル必要上カラ、國
民代表トシテノ意見デアルカラ、是ハドウ
カ大藏當局トシテハ速カニ實行スルヤウニ
シテ戴キタイ、北浦君ガ聽カレマシタ時
ニ、ソレハドウモ自分ノ方ノ關係デナイカ
ラ知ラヌ、斯ウ云フコトハ政府議會一體
ナリト云フ建前カラ見タラバ、餘り穩當
ナ言葉デナイダラウカト思ヒマスカラ、ド
ウカ過去ハ仕方ガナイガ、是カラハ是非

等ニ對シ適當ナ方法ヲ講ジテ戴キタイ、私ハ其ノ一人トシテ申上ゲテ置キマス——ソレデハ立川君

○立川委員 總理大臣ガ只今參内中トノコトデ今日ハ來ラレナイサウデスガ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、明日モ斯ウ云フ際デアルカラ分ラナイト云フコトデスカラ、私ハ待ツテ居ルコトハチツトモ差支アリマセヌケレドモ、議事ノ進行ヲ妨ガルヤウナコトニナツテハ不本意デアリマスカラ只今質問ヲ致シマス、岩村國務大臣カラ其ノ點ニ付テ御答辯ヲ得タイト思ヒマス第一ハ人權擁護ニ付テデアリマスガ、人權擁護ト云フコトハ詰リ言葉ガ古クナツテ居ツテ、聊カ陳腐ナ感ジヲ人ニ與ヘルノデアリマス、併シ是ハ非常ニ大切ナコトデアルコトハ申スマデモナインデアリマシテ、人權ヲ尊重セズシテ立憲政治ハナイト云フ章ハ今日モ尙ホ炳乎トシテ明カデアツテ、時代ニ依ツテ少シモ其ノ精神ハ變ルモノデナイト信ジマス、唯併シ今日ハ此ノ重大ナル戰争ニ直面シテ居ル日本ト致シマジテハ、其ノ國家ノ大目的ヲ完遂スル爲メ、個人ノ自由、財產、生命ト云フモノニ、相當ノ拘束ヲ加ヘル、制限ヲスルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイ結果カトモ思ヒマス、併シナガラ是ハ憲法ノ原則ヲ制限シ拘束スルノデアリマスカラ、飽クマデモ法律ニ依ツテ其ノ最小限度ニ之ヲシナケレバナラナシナガラ是ハ憲法ノ原則ヲ制限シ拘束スル屢、之ヲ誤ツテ、斯ウ云フ時代ニナレバ個人ノ權利ダトカ云フモノハ當然存

在シナインダト云フヤウニ誤解ヲシテ、斯様ナ言葉ヲ公言スル者スラ私ハ見聞シタノハレテ居リマスガ、此ノ人的資源ノ確保ト云フコトヲヤカマシク言ハナク、各人ガ其ノ持ツテ居ル全能力ヲ發揮シテ、之ヲ國家ニ捧ゲナケレバナラナイ意味ニ於テデアルト考ヘマス、左様デアリマスナラバ、各人ヲシテ喜ンデ其ノ全力ヲ國家ニ奉仕シ得ルヤウニ、其ノ名譽ヲ重ンジ、其ノ品位ヲ傷ツケナイヤウアルノデアリマス、斯ウ云フ際デアリマスカラ私ハ特ニ人權ノ尊重ヲ叫ビタイ、而カモ今日ノ事實ハ屢々私共ノ此ノ期待ヲ裏切ルヤウナコトガアルノデアリマス、此ノ點ニ對シテ先づ岩村國務大臣ノ所見ヲ伺ヒマスモ今日ノ事實ハ屢々私共ノ此ノ期待ヲ裏切ルアルノデアリマス、斯ウ云フ際デアリマス、只今御答ヘ申上ゲマス、只今人權尊重ニ付テ縷々御述ベニナリマシタコトハ、私モ全ク同感デアリマス、人權ノ尊重スベキコトハ立憲政治ノ下問題ノナイトデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ少シク人權尊重ニ付テ縷々御述ベニナリマシタコトハ、私モ全ク同感デアリマス、人權ノ尊重スベキコトハ立憲政治ノ下問題ノナイトデアリマス、只今御説ノ中ニモ、人權尊重ト云フコトニ付テハ、個人ノ自由、生命、財產、ソレ等ノモノハ尊重シナケレバナラヌト云フ御話ガゴザイマシタガ、要スルニ一億一心ト申シマシテモ、各々ノ自由、生命、財產ト云フモノハ保護サレマス、ソレニ依ツテ一億相倚リ相扶ケテ進ムト云フコトハ、私ハ無論必要ナコトト考ヘテ居リマス、此ノ意味カラ申シマシテモ、人權ヲ尊重致シマシテ、人的資源ヲ確保シ、全能力ヲ擧ゲテ此ノ總力戦ニ貢獻セシムルヤウニ努メルコトハ、御説ノ通り必要ナコトト存ジテ居リマス、國ヲ舉ゲテ大東亞戰爭ノ完遂ニ邁シテ居リマスル今日、國民ノ人々ガ皆安

○立川委員 岩村國務大臣ノ御答辯ハ私ノ御訓示アランコトヲ希望シマス第二點ニは綱紀肅正ノ問題デアリマス、綱紀肅正ノ必要ナコトハ、是亦時代ニ依ツテ變ルコトハナイノデアリマス、特ニ今日ノヤウナ緊張シタ時代ニハ、官吏タル者ハ國民ノ正シイ權益ヲ無視スルコトデハナイノデアリマシテ、寧ロ一部ノ不心得ノ者ヲ戒メ、一般國民ノ正シイ權益ヲ守ルガ爲デアルト思ヒマス、併シナガラ取締ノ強化ニ伴ヒマンテハ、如何ニモ國民ノ權益ガ輕視セラレルカノ感ジヲ與ヘマスクトハ、極力避ケナケレバナラスト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ平素其ノ衝ニ當ツテ居リマス官吏ニ對シテハ、十分ニ注意ヲ拂ハセ、又將來モ十分訓戒ヲ加ヘテ行カナケレバナラナイコトヲ考ヘテ居リマス、只今御説ノ中ニモ、人權尊重ト云フコトニ付テハ、個人ノ自由、生命、財產、ソレ等ノモノハ尊重シナケレバナラヌト云フ御話ガゴザイマシタガ、要スルニ一億一心ト申シマシテモ、各々ノ自由、生命、財產ト云フモノハ保護サレマス、ソレニ依ツテ一億相倚リ相扶ケテ進ムト云フコトハ、私ハ無論必要ナコトト考ヘテ居リマス、此ノ意味カラ申シマシテモ、人權ヲ尊重致シマシテ、人的資源ヲ確保シ、全能力ヲ擧ゲテ此ノ總力戦ニ貢獻セシムルヤウニ努メルコトハ、御説ノ通り必要ナコトト存ジテ居リマス、國ヲ舉ゲテ大東亞戰爭ノ完遂ニ邁シテ居リマスル今日、國民ノ人々ガ皆安

○立川委員 岩村國務大臣ノ御答辯ハ私ノ御訓示アランコトヲ希望シマス第二點ニは綱紀肅正ノ問題デアリマス、綱紀肅正ノ必要ナコトハ、是亦時代ニ依ツテ變ルコトハナイノデアリマス、特ニ今日ノヤウナ緊張シタ時代ニハ、官吏タル者ハ國民ノ正シイ權益ヲ無視スルコトデハナイノデアリマシテ、寧ロ一部ノ不心得ノ者ヲ戒メ、一般國民ノ正シイ權益ヲ守ルガ爲デアルト思ヒマス、併シナガラ取締ノ強化ニ伴ヒマンテハ、如何ニモ國民ノ權益ガ輕視セラレルカノ感ジヲ與ヘマスクトハ、極力避ケナケレバナラスト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ平素其ノ衝ニ當ツテ居リマス官吏ニ對シテハ、十分ニ注意ヲ拂ハセ、又將來モ十分訓戒ヲ加ヘテ行カナケレバナラナイコトヲ考ヘテ居リマス、只今御説ノ中ニモ、人權尊重ト云フコトニ付テハ、個人ノ自由、生命、財產、ソレ等ノモノハ尊重シナケレバナラヌト云フ御話ガゴザイマシタガ、要スルニ一億一心ト申シマシテモ、各々ノ自由、生命、財產ト云フモノハ保護サレマス、ソレニ依ツテ一億相倚リ相扶ケテ進ムト云フコトハ、私ハ無論必要ナコトト考ヘテ居リマス、此ノ意味カラ申シマシテモ、人權ヲ尊重致シマシテ、人的資源ヲ確保シ、全能力ヲ擧ゲテ此ノ總力戦ニ貢獻セシムルヤウニ努メルコトハ、御説ノ通り必要ナコトト存ジテ居リマス、國ヲ舉ゲテ大東亞戰爭ノ完遂ニ邁シテ居リマスル今日、國民ノ人々ガ皆安

官吏ノ精神ノ改造、吏道ノ刷新ト云フコト居リマス、併シ此ノ精神運動ト申シマスカ、精神感化ダケデハ甚ダソコニ不安ナ點ガアルノデアリマス、即チ私ハ一面カラハ法律ノ制裁ヲ加ヘナケレバイケナイ、斯ウ云フ際ノ官吏ノ不正ノ如キハ嚴罰ヲ以テ臨マナケレバナラヌ、斯ウ考ヘマス、同時ニ又一面ニ於テハ、極ク受クル所ノ少イ、非常ニスル爲ニハヤハリ其ノ生活ヲ安固ニシテ、保障スルト云フ方途ニ出デナケレバナラヌト思ヒマス、經濟統制違反ノ如キ、其ノ犯罪者ノ中ニハ憎ムベキ所謂反國策者ガ多イ、而モ同時ニ又ソコニハ非常ニ哀レナ人モ澤山アル、官吏ノ瀆職ニ對シマシテモ、憎ムベキ不正者モアリマスルケレドモ、茲ニ事情頗ル同情スベキ人達モナイデハナイ、一面ニ於テハ嚴罰ヲ以テ之ヲ制裁スル、一面ニ於テハ其ノ生活ヲ安全ニシテ、少シモ誘惑ニ乘ゼラレナイヤウニスル、是ガ大切デアル、唯精神上ノ吏道刷新ト云フコトヲ叫ンダケデハ足ラナイト私ハ思フノデアリマス、此ノ具體的方策ニ付テ政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

マルスルガ、瀆職ノ罪ヲ犯ス者ノアリマル
コトハ、只今御指摘ノ通りデアリマス、洵
ニ遺憾ニ存ジマス、是ガ對策トシテハ如何
ニシタラ宜イカト云フコトニ付テ、一面斯
カル場合ニ經濟統制ニ關係シテ居ル者ニ付
テハ、特ニ之ヲ嚴罰スル必要ノアル場合モ
アルシ、又下級職員ガ罪ヲ犯ス場合ニハ可
哀サウナ場合モアル、斯ウ云フ情理ニ瓦ツ
テノ御話デアリマス、私モ左様ナコトハア
ルダラウト思ヒマス、大體ニ於テ國民ガ統
制經濟ノ如キ從來經驗ノナイ非常ナ不自由
ナ生活狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス、
斯カルコトヲ考ヘマスト、是ガ取締ニ當ツ
テ居ル所ノ官吏ハ、十分ニ自肅自戒スベキ
モノト私ハ考ヘテ居リマス、斯カル者ガ罪
ヲ犯シタ場合ニハ、之ヲ嚴罰スルト云フコ
トハ私ハ必要ダト思ヒマス、唯一面ニ於テ
下級ノ官吏ガスノ待遇菲薄ナルガ爲ニ、心
ナラズモ他ノ誘惑ニ依ツテ罪ヲ犯スヤウナ
者ハ、中ニハ其ノ情ニ於テ氣ノ毒ナ者モチ
イトハ言ヘナイト思ヒマス、サスレバ左様
ナ官吏ニ對シテ十分手當ヲ厚クシタラドウ
カ、増俸シタラドウカト云フヤウナ問題モ
起ツテ來ルト思ヒマス、唯官吏ノ増俸ノ問
題ニ付テハ、時々議論ニモナルノデアリマ
スガ、無論研究ヲ要スペキ事柄ト思ヒマス、
併シナガラ今日ハ戰地ニ於テ生命ヲ君國ニ
捧ゲテ將兵ハ戰ツテ居ルヤウナ時デモアリ
マスルシ、色々其ノ點ニ付テハ各方面ノコ
トヲ能ク考ヘ合セテ十分検討シナケレバナ
ラヌ事柄モアラウカト思ヒマス、此ノ事ハ
單ニ司法部内ノコトデナク、一般ノ官吏、
殊ニ一般ノ下級官吏ニ共通シタ問題デゴザ
イマスカラ、私カラ御答ヘ申上ゲルノモ如
何カト存ジマスガ、私ノ考ヘト致シマシテ

モ、十分研究ヲシナケレバナラズト思ヒマスガ、今日ノ場合直ニ官吏ダケヲ増俸スルト云フヤウナコトモ餘程考究ノ餘地ガアル問題デハナイカト存ジマス、大體御尋不ニ付テ御答ヘシタ積リデアリマス
○立川委員 大體ニ於テ諒承ハ致シマシタケレドモ、私ハ官吏全體ヲ増俸シロト云フ意味ノコトヲ申シタノデハアリマセヌ、寧ロ私ハ官吏諸君ノ中デ中等以上ノ方々ハ比較的十分ナ給與ヲ受ケテ居ルト存ジテ居ルノデアリマス、唯今日ノ社會状態ニ於テ、全ク比較ニナラナイノハ所謂下級官吏ノ諸君デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ先般來同僚諸君カラモ具體的ノ事例ヲ舉ゲテ澤山質問モアリ、應答モアリマシタカラ、私ハ之ニ附加ヘマセヌガ、私ノ申上ゲタノハ、下級ノ官吏或ハ雇ト云フヤウナ人達ニ對スル增俸デアリマス、シテ見レバ其ノ金額ト云フモノハ決シテ多額ナモノデハナイ、私ハ數百万圓モ要ラナイノデハナイカト思フ、サウシテ見レバ今日ノ場合其ノ位ノ金ハ何處カラデモ捻出出來ナイコトハナイノデアリマシテモ、左様ナ必要ナ經費ノ支出ハ、政府ハ決心シテ斷行セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

第三ニハ、思想犯ニ對スル政府ノ取締方針如何ト云フコトデアリマス、共產主義者ノ我國體ニ容レラレナナイコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、其ノ爲ニ特ニ治安維持法ト云フヤウナ法律ヲ設ケテ之ヲ取締ツテ居ル譯デアリマスガ、一タビ此ノ共產主義者ト申シマセウカ、ソレ等ノ人々ガ轉向シタト云フコトヲ自分デ聲明スル、或ハサウ云フヤウ

ナ顔ヲナサルト云フト、ソレヲモウ全然信
用シテ、昨日ノ左翼主義者ガ今日ノ國家主義
者ノヤウニ取扱ハレテ、殊ニ最近ノ状況ニ
於テハサウ云フ人達ヲ各所ニ重ク登用シテ
居ルノデス、其ノ結果今日相當ノ官吏ニシ
テ思想犯トシテ取調ヲ受ケテ居ル者モアリ
マス、傳へ聞ク所ニ依レバ、前總理大臣ノ
側近ノ有力ナル「メンバ」モ、是又其ノ件
デ以テ取調ヲ受ケテ居ル、或ハ産業組合、
或ハ大政翼賛會ノヤウナ特殊團體ノ關係者
ガ、共產思想ノ傳播者トシテ取調ヲ受ケ
テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、一體
サウ云フコトニナルノハ、此ノ轉向ト云フ
コトヲ餘リニ輕々シク政府ガ取扱ツテ居ル
カラズデハナイカト思フ、泥棒ヤ詐欺ノ如ク、
平素惡イコトヲシテ居ルト云フコトヲ自覺
シテ、良心ニ責メラレルカラサウ云フ犯罪
ヲ犯シテ居ル者ト達フ、相當ノ教養ヲ持ツ
テ居ル者ガ、長年ノ思索ノ結果、之ヲ善ナ
リトシテ共產思想ヲ奉ジテ居ルノデアリマ
スカラ、サウ云フ人達ガ一朝一夕ニシテ俄
カニ百八十度ノ轉回ヲスルト云フコトハ私
共常識ヲ以テ考ヘラレナイ、然ルニ今日マ
デハ一タビ轉向シタト言フト、急ニ其ノ人
ヲ今度ハ逆ニ恰モ國家主義者ノ模範デアル
ガ如キ取扱ヲ屢シテ居ル、其ノ結果私ガ今
申シタヤウナ、トンデモナイ所カラ思想犯
トシテノ檢舉ヲ受ケル者ガ輩出シテ居ルヤ
ウナ現象ガ出テ居ルノデハナイカト斯様ニ
考ヘマス、此ノ惡思想者ノ轉向ト云フコト
ニ對スル政府ノ取締方針、考ヘ方ト云フモ
ノハ一體ドウ云フ所ニアルノデスカ、御説
明ヲ願ヒタイト思ヒマス

申シマスカ、斯ウシタ者ノ取締ハ嚴重ニ致シテモ、之ニ嚴罰ヲ以テ臨ムコトノ必要デアルコトハ私同ジ感ヲ持ツテ居リマス、只今御述ベニナリマシタ中ニモ、ドウモ共產主義者等ガ轉向シタ言フト、容易ク之ヲ信ジテ、重ク用ヒルト云フヤウナコトガアルノハ如何ナモノデアルカト云フ御説ガゴザイマシタガ、此ノ轉向ト云フコトヲ認メルコトハ非常ニ困難ナコトデアリマス、無論自分ノ抱イテ居リマシタ思想ハ、全然我ガ國體ニ照シテ不都合ナモノデアルト云フノデ、思想ノ根本カラ之ヲ拋棄スル者モアリマスガ、中ニハ自分ハ主義ハ棄テナイ、併シ色々運動スルト云フヤウナコトニナレバ、親戚ニ迷惑ヲ掛けタリスルヤウナコトガアルノデ、マア運動ハシナイヤウニスルト云フヤウナノモアル、詰リ根本カラ思想ヲ全然改メルト云フ者ト、思想ハ其ノ儘包アリマス、斯カル轉向ノ種類——細カイコトハ或ハ刑事局長カラ申上ゲル方ガ宜イカモ知レマセヌガ、轉向ノ段階ト云フモノヲ行刑上ハ認メテ居ル譯デス、慥カ五、六種ニ認メテ居ルト思ヒマス、完全轉向、ソレカラ准轉向——准轉向ノ中ヲ分類シテ思想ノ如何ヲ甄別シテ居リマス、前ノ通常議會ニ於テ治安維持法ガ改正セラレマシテ、豫防拘禁制度ト云フモノガ我が國デ初メテ認メラレマシタ、一定ノ刑期ヲ終了致シマシテ後ニ、又再犯ニ陥ルコト顯著ナリト認メタ場

ルト云フ新シイ制度ガ此ノ前ノ通常議會デ
作ラレマシタ、サウ云フ制度ガ出來マシタ
カラ、刑ヲ行ツテ居ル時分ニ、此ノ者ハ轉
向シタモノデアルカドウカト云フコトハ、
非常ニ重要ナ問題ニナツテ参リマス、今日
既三十數人刑ノ執行ヲ終リマシタ者ヲ、豫
防拘禁制度ヲ活用シテ其ノ方ニ收容シテ居
ルモノガアル、是ハ轉向シナイ者ガ刑ヲ終
ツテ出テ参リマスト、段々其ノ數ガ殖エテ
參ル筈デアリマス、左様ナ譯デ完全ニ轉向
シタカドウカト云フコトハ、今日ハ制度上
モ非常ニ大切ナコトニナツテ參ツテ居リマ
ス、完全ニ轉向シタ者ハ、是ハヤハリ日本
人トシテ各々其ノ職域ニ活動セシムルコト
ハ宜イト思ヒマスガ、轉向セザル者ヲ過ツ
テ轉向シタ者ト認メテ、之ヲ重要ナ地位ニ
用ヒルト云フコトハ、非常ニ危険デアルト
思ヒマス、其ノ點ニ付テハ御指摘ノ通り、
此處デ内容ヲ詳シク申上ゲルコトハ、豫審
中等ノ事件デアリマスカラ差控ヘタイト思
ヒマスガ、完全ニ轉向シテ居ナイ者ガ官廳
ニ採用セラレタ例ノアルコトハ、私ハ遺憾
ニ存ジテ居リマス、サウ云フヤウナ事例モ
アリマシタカラ、近來ハ轉向者ヲ採用スル
ト云フヤウナコトニハ、各官廳デハ非常ニ
注意ヲシテ居ル筈デアリマス、私モ各官廳
ヨリ聞イテ居リマス、又官廳ノミナラズ、
産業組合トカ其ノ他ノ公ノ組合等ニモ、完
ト思ヒマス、左様ナ次第デ、過去ニ於テ御
指摘ノヤウナ事例ガアリマシタコトハ遺憾
デアリマスケレドモ、政府トシテハ十分左

○立川委員 転向ヲ過ツテ信用スル、サウ云フコトノ根本ハ、是ハ役所ニ限リマセヌガ、日本ノ弊害トシテ、人間ヨリモ知識才能ヲ偏重シ過ギル弊ガアル爲メデアル、左翼主義者ハ大體ニ於テ秀才ナンデス、サウ云フ所ニ惚込ンデツイ濁潤ニ採用スルカラサウ云フ結果ニナルノデアツテ、轉向者ヲ見誤ルト云フダケデナク、役所ナドガ役人ヲ登用スル最近ノ標準ニ付テ、十分ニ御考ヘヲ願ハナケレバナラスト思フ、其ノ意味ニ於テ一層御注意ヲ煩ハシタイト思ヒマス更ニ此ノ際之ニ關聯シマシテ、所謂轉向者デナク、本來カラノ國家主義者デアルト標榜シテ居ル人達、斯ウ云フ人達ガ屢々私有財產制度ノ否認ヲ宣傳シテ居ル、斯ウ云フ者ニ對スル政府ノ取締ノ方針ヲ伺ヒマス

○岩村國務大臣 私有財產制度ノ否認ヲ目的トシマシタ結社等ニ關スル取締規定ハ、治安維持法ニゴザイマスカラ、是ハ私カラ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、唯今日治安維持法ノ規定上カラ申シマスルト、國體變革ヲ目的トスル場合ハ、宣傳マデ取締ガ行ツテ居ル譯デアリマス、私有財產否認ノ場合ハ煽動マデ參リマシテ取締ガ行クガ、宣傳ダケハマダ規定ガナイ譯デアリマス、此ノコトハ七十六議會デアリマスカ、貴族院デ色々論議セラレタ點デアルノデアリマスカラ、私カラ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、私有財產制度ニ關シマシテ、宣傳ト

云ヒマスカ、或ル話ヲシタト云フヤウナ場合ニ、トガ取上ゲラレテ問題ニナリマスル際ニ、是ハ宣傳スル積リデアツタカ、唯話ヲスル積リデアツタカト云フコトハ、問題ニナル場合ガ相當多イト思ヒマス、是ハ古クカラノ問題デアリマシテ、例ヘバ外國カラ歸ツテ來テ、甲ノ國ニハ斯ウ云フ共產主義制度ガアツタノダト云フ話ヲスルト、ソレハ直ぐ宣傳デハナイカ、斯ウ云フコトニナツテハ非常ニ取締ノ方面カラ見テモ如何デアラウカト云フヤウナコトハ、從來カラ問題ニナツテ居ルノデアリマス、國體變革ニ關シマシテハ、是ハモウ宣傳ヲスルコトハ規定ヲ設ケテ取締ツテ居リマスガ、其ノ點ガ國體變革ノ目的ノ場合ト、私有財產制度否認ノ目的ノ場合ト一寸違ヒハアルノデアリマス、私有財產制度ノ否認ノ場合ニ、ヤハリ宣傳行爲ヲ取締ツタラ宜イカドウカト云フコトニ付テハ、十分検討シテ見タイト思ヒマスガ、從來ノ經過カラ申シマスルト、ドウモ私有財產制度ノ方ハ宣傳ダケハ危險デアラウ、燐動ハモウ罰シテ居リマシテ、私有財產制度ノ否認ガ宜シノダト云フヤウナヨトヲ言ツテ話ヲスルトカ、文書ヲ書クトカ燐動行爲ニ亘レバ今日處罰ガ出來ルト云フ、點ガアリマスカラ、ソコニ若干宣傳ヲ罰シタ場合ト罰シナイ場合トノ區別ハアラウトカ、思ヒマスケレドモ、惡意ヲ以テ或ル共產主義思想ヲ人ニ傳ヘルト云フヤウナ場合ハ、私ハ大概燐動デ罰セラレルノデハナイカトモ、我ガ國ニ於テハ決シテ許スコトノ出來ナイ事柄デアリマス、是ハ治安維持法ニ違

反スル以上、嚴罰シテ行クト云フ考ヘハ、前ト少シモ私ハ變リマセヌ、將來モ治安維持法ニ觸レルヤウナコトガアリマシタナラバ、嚴罰ニ處スベキモノト私ハ考ヘテ居リマス

○立川委員 國體ノ變革ト云フコトハ、是ハモウ許スベカラザル大逆罪デアルコトハ、我が國ノ國民的確信デアリマス、所ガ私有財產制度ノ否認トナリマスルト、或ハ之ヲ唯經濟學ノ革新論ト云フヤウナ風ニ輕ク視ル人ガナイデモナイ、所ガ私ノ信ズル所ニ依レバ——尤モ大臣モ只今サウ仰シヤツタガ、私有財產制度否認ハ少クトモ我ガ國ニ於テハ絕對ニ許スベカラザル思想デアルノデス、隨テ國家主義者——其ノ主義ノ大綱ハ宜イカモ知レヌガ、國家主義者デアリマシテモ、苟モ私有財產制度ノ否認ノ言動ヲナス者ハ、十分ニ取締ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ、特ニ此ノ際御警告申上ゲタイト思フノデアリマス、此ノ思想犯ノ檢舉ノ状況ニ付テハ後程或ハ祕密會デモ結構デスカラ開イテ戴イテ、司法省ノ政府委員カラモウ少し具體的ニ私ハ伺ヒタイト思ヒマス

以上三點ニ付テ私ハ總理大臣ノ御答辯ヲ得タイト思ツタノデアリマスガ、御差支ヘガアツテオイデガナイ、幸ヒニ岩村國務大臣ノ御答辯ヲ得マシタカラ、私ハソレヲ政府ノ方針ナリト伺ツテ満足ヲ致シマス、願ハクバ其ノ方針^{並同}ツテ斷乎トシテ邁進セラレンコトヲ希望致シマス

次ニ四、五伺ヒタインデアリマスガ、是ハ大臣デモ政府委員ノ方デモ結構デアリマス、先刻大臣ニモ伺ツタノデアリマスガ、官吏ノ瀆職、今日ノ時勢カラ、殊ニ經濟統

ニ携ハル官吏ノ瀆職ノ如キハ嚴罰ニシナ
ケレバナラスト云フ大體ノ趣意ニハ大臣モ
御贊成ノヤウデアツタノデアリマスガ、就
イテハ嚴罰ト云フ意味ニ於テ今回ノ改正案
ニ之ヲ加ヘナカツタノハドウ云フ譯デアル
カ、尤モ此ノ點ニ付テハ既ニ質問ガアリマ
シタ、其ノ時ニ大森次官ノ御答辯デハ、最
近ノ刑法改正ニ依ツテ一應改正シタカラ、
ソレヲ又今度改正スルコトハ外國ニ對スル
思惑モドウデアルカ、惡宣傳ノ材料ニサレ
ハセヌカト云フヤウナ點デアリマシタケレ
ドモ、七十六議會ノ刑法ノ改正ハ、是ハ戰
時ニ於ケル刑法ノ改正、戰時ニ於ケル犯罪
ノ處罰ヲ嚴重ニスルト云フ意味デナカツタ
コトハ申スマデモナイシ、又其ノ改正ノ内
容ハホンノ一寸ノ改正デアツテ、私ガ此處
謂フ嚴罰ト云フ程度ニハ行ツテ居ラナイ、
又今回改正スルコトガ、外國ニ對スル思惑
モドウデアルカト云フヤウナ點ニ付キマシ
テハ、ソレモアリマセウガ、現ニ今回ノ議
會ニハ陸海軍ノ刑法ガ改正サレテ居ル、其
ノ内容ハ御承知ノ通リニ或ル意味ニ於テハ
餘リ自慢ニナラナイ——外國ニ對シテノ思
惑モ如何ト思フヤウナ點ガアル、併シナガ
ラスハ必要トアレバ多少ノ犠牲ハ已ムヲ得
ナイトシテ、陸海軍デハ之ヲ提案シ、議會
ハ之ヲ可決シタノデアリマス、隨テ其ノ必
要アレバ左様ナコトハ考慮スルニ及バナ
イ、サウシテ見マスト、大森サンノ御答辯
モ遺憾ナガラ満足スル譯ニハ行カナイノデ
アツテ、今度之ニ加ヘナカツタト云フ點ニ
付テ何カ他ノ理由ガアルノカ、サウデナケ
レバ近イ將來ニ之ヲ附加シタイ、増補シタ
イト云フヤウナ御考ヘガアルカドウカ

マスガ、御言葉ノ中ニ、既ニ私ノ答辯ノ一部ヲ御引用ニナリマシタカラ、其ノ點ハ重複シテ申述ベマセヌ、其ノ外ニ先般申上ゲタコトデアリマスガ、今回御審議ヲ願ヒマスル戰時刑事特別法案ノ第一章ニ、戰時下必要トスベキ或ル種ノ犯罪ニ付テノ刑罰ノ加重ヲ致シマシテ、此ノ種ノ犯罪ニ付キマシテ戰時下ニ於テ實體的ニ其ノ刑罰ヲ加重スル必要ガアリマスルノミナラズ、戰時下審理ヲ長引カセルコトガ不當デアル、少クモ銃後治安ノ確保ノ上カラ言ツテモ、望マシカラザルコトデアルト考ヘマシテ、不可分的ニ控訴審ヲ省略シタノデアリマス、所謂戰時ノ官吏瀆職ハ勿論甚ダ惡イコトデゴザイマスケレドモ、此ノ瀆職罪ニ付テ控訴審ヲ省略スルト云フコトハ、手續上穩當デナイト考ヘタノデアリマス、又瀆職ノ方ガ二審級ニシテ、贖賄ノ方ヲ三審級ニスル、是亦手續上不都合デアルコトハ固ヨリデアリマス、然ラバ更ニ一步ヲ進メテ戰時瀆職罪ダケヲ重クシテ、而モ審級ハ三審級通リニスレバ宜イデハナイカト云フ御意見モアリマセウ、併シ先程申シマシタ通り、戰時刑法特別法案ノ體制トシテハ、刑罰ノ加重ト審級ノ省略、是ハ不可分的ニ共ニ必要ナモノダト考ヘタ次第アリマス、左様ナ關係カラ、戰時刑事特別法案ニ於テハ戰時瀆職罪ヲ除カザルヲ得ナイ、斯ウ云フヤウナ關係ニアルノデアリマス、右種々ノ事情ヲ考慮シテ、此ノ中ニ加ヘナイコトニ致シタノデアリマス、右ノ點御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

トダケヲ申上ゲテ置キマス
次ニ裁判ノ尊重ト云フコトニ付テ一寸御
意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、我ガ國ノ裁判ハ輕微犯ニ對シテ重ク、重大犯ニ對シテ
法違反ト云フヤウナモノニ特別犯、或ハ又刑法ニ
アリマス賭博——、ソレモ田舎ノ人達ガ慰^ム
ミニヤルト云フヤウナ極ク小サナ賭博、サ
ウ云フヤウナモノニ對シテ可ナリ重イ刑ヲ
科スルクセニ、殺人、強盜、強姦ト云フヤ
ウナモノニ對シテドウモ輕過ギハシナイカ
ト私ハ思フ、個々ノ裁判ニ付テ批評ヲ申上
ゲルノデハナイノデスガ、サウ云フ感ジヲ
私ハ持チマス、是ハ無論サウ云フヤウナ方
針ガアル譯ハナイガ、ドウモ何カ裁判官ノ
心理ニサウ云フヤウナモノガ一貫シテアルノ
デハナイカ、若シアルトスレバソレハ大變
ナ間違ヒデアル、ヤハリ輕イモノハ輕クシ
テ、重イモノハ重クスベキデアリマス、ソ
レヲ重イモノヲ割合ニ輕クシテ、一番處罰
シ易イ、極ク手取早イ所ヲ強クヤルト云フ
コトハ、ドウモ私ハアベコベダト思フ、更
ニモツト露骨ニ申セバ、裁判ノ仕方デアリ
マシテモ、弱イ刑事被告人ニ對シテハ秋露
烈日、峻嚴デアリマス、所ガ強イ被告ニ對
シテハドウカト思フ、神兵隊事件ノ裁判ノ
如キハ——私裁判ノ結果ヲ言フノデハアリ
マセヌガ、法廷ノ秩序維持、裁判ノ尊嚴考
考ヘテモ、私ハソコニ何カ一ツノ傾向ガアリ
ルノデハナイカト考ヘマスガ、此ノ點ニ付
テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

中 文 版 · 第 二 版 · 中 文 版 · 第 二 版

○大森政府委員 只今ノ御言葉ノ中ニ、既ニ確定裁判ニ付テ批評スル意思ハ毛頭モナイト仰セラレマシタ、隨テ私モ勿論確定裁判ニ付テ批評スルコトハ御遠慮申上ゲル次第デアリマスルシ、又ハ如何ナル場合デモ御遠慮申サナケレバナラスト存ジマス、ソコデ抽象的ノ議論トシテデアリマスガ、是ハ刑ノ量定ハ事案ノ如何ニ依ツテ實嚴宜シキヲ得ナケレバナラナイコトデアリ、又ソレガ眞ニ裁判ノ信賴ヲ繋グ所以デアルコトハ全ク御同感デアリマス、由來我國ダケデモナインデアリマセウガ、人命犯ニ付テ刑罰ガ輕過ギルト云フヤウナ非難ヲ聞イタコトハアリマス、是ハ殺人又ハ強盜殺人等人命犯ニ付テノ問題デアリマスガ、是等ノ批評ハ十分傾聽スベキコトダト私ハ考ヘテ居テハアリマス、是ハ殺人又ハ強盜殺人等人量定ニ付テハ深甚ナル考慮ヲ拂ハナケレバ導ヲ賜ハランコトヲ望ミマス

○立川委員 願ハクハ裁判官諸公ニ於カレテハ、千萬人ト雖モ吾往カント云フ氣慨ヲ以テ裁判ニ處セラレルヤウ、適當ナル御指導ヲ賜ハランコトヲ望ミマス

次ニ私ハ判檢事ノ待遇ニ付テ一寸申上げタインデアリマス、是モ吾往カント云フヤウナ非難ヲ聞イタコトハアリマス、是ハ殺人又ハ強盜殺人等人命犯ニ付テハ深甚ナル考慮ヲ拂ハナケレバ導ヲ賜ハランコトヲ望ミマス

○立川委員 願ハクハ裁判官諸公ニ於カレテハ、千萬人ト雖モ吾往カント云フ氣慨ヲ以テ裁判ニ處セラレルヤウ、適當ナル御指導ヲ賜ハランコトヲ望ミマス

ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ帝國大學卒業後ノ年數ノ表ヲ見テモ、大正十年卒業デ勅任ニナツタ方ガ一人アリマスガ、是ハ稀デ、大抵大正六、七年前ノ卒業ノ人ガ多イ、所ガ今日行政官ノ方デハ、大正六、七年ナドト云フ人ハモウ辭メテ居ラレテ、大正十二年以降ノ卒業生ガ勅任ニナツテ居ルヤウナ次第デ、司法官ノ待遇ハ非常ニ惡イヤウニ考ヘマス、終身官デアルカラ待遇ハ低クテモ宜ヒノダト云フヤウナ考ヘハ、根本的ナ間違ヒデアツテ、終身官デアラウガナカラウガ、年數カラ見テ其ノ人ノ其ノ位置ニ於テ待遇が適當ナリヤ否否ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、サウ考ヘルト、司法官ノ待遇ハ如何ニモ惡イヤウニ考ヘマス、此ノ待遇ヲ好クスルニハドウシタラ宜イカ、勿論豫算ヲ澤山取レバ結構デアルカラ、豫算モ出來ルダケ澤山取ツテ戴キタイガ、ソレト同時ニ私ノ申上ゲタイノハ、或ハ同僚諸君ト多少意見ガ違フカモ知レナイガ、定員増加ト云フコトヲヨク仰シヤイマス、司法省ノ政府委員モサウ仰シヤイマス、又手不足ト云フコトヲ無暗ニ仰シリガ、果シテ手不足カドウカ、尤モ是ハ其ノ人ノ個人的ノ位置ニモ依ルノデ、一概ニハ言ヘナイカモ知レマセヌガ、少クトモ判事ニ付テ申上げテモ、左様ニ忙シクテ、猫ノ手モ借リタイト云フヤウニハ私共ニハ見エナイ、先刻古島君モ仰シヤツタガ、十一時頃カラ法廷ガ開カレル、今時十一時頃カラ「オフィス」ガ開カレルト云フヤウナモノハアリマセヌ、工業會社ナドニ行ツテ御覽ナ

アリマシテ、今后トモ十分ノ御同情ヲ得テニナツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ帝國大學卒業後ノ年數ノ表ヲ見テモ、大正十年卒業デ勅任ニナツタ方ガ一人アリマスガ、是ハ稀デ、大抵大正六、七年前ノ卒業ノ人ガ多イ、所ガ今日行政官ノ方デハ、大正六、七年ナドト云フ人ハモウ辭メテ居ラレテ、大正十二年以降ノ卒業生ガ勅任ニナツテ居ルヤウナ次第デ、司法官ノ待遇ハ非常ニ惡イヤウニ考ヘマス、終身官デアルカラ待遇ハ低クテモ宜ヒノダト云フヤウナ考ヘハ、根本的ナ間違ヒデアツテ、終身官デアラウガナカラウガ、年數カラ見テ其ノ人ノ其ノ位置ニ於テ待遇が適當ナリヤ否否ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、サウ考ヘルト、司法官ノ待遇ハ如何ニモ惡イヤウニ考ヘマス、此ノ待遇ヲ好クスルニハドウシタラ宜イカ、勿論豫算ヲ澤山取レバ結構デアルカラ、豫算モ出來ルダケ澤山取ツテ戴キタイガ、ソレト同時ニ私ノ申上ゲタイノハ、或ハ同僚諸君ト多少意見ガ違フカモ知レナイガ、定員増加ト云フコトヲヨク仰シヤイマス、司法省ノ政府委員モサウ仰シヤイマス、又手不足ト云フコトヲ無暗ニ仰シリガ、果シテ手不足カドウカ、尤モ是ハ其ノ人ノ個人的ノ位置ニモ依ルノデ、一概ニハ言ヘナイカモ知レマセヌガ、少クトモ判事ニ付テ申上げテモ、左様ニ忙シクテ、猫ノ手モ借リタイト云フヤウニハ私共ニハ見エナイ、先刻古島君モ仰シヤツタガ、十一時頃カラ法廷ガ開カレル、今時十一時頃カラ「オフィス」ガ開カレルト云フヤウナモノハアリマセヌ、工業會社ナドニ行ツテ御覽ナ

アリマシテ、今后トモ十分ノ御同情ヲ得テニナツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ帝國大學卒業後ノ年數ノ表ヲ見テモ、大正十年卒業デ勅任ニナツタ方ガ一人アリマスガ、是ハ稀デ、大抵大正六、七年前ノ卒業ノ人ガ多イ、所ガ今日行政官ノ方デハ、大正六、七年ナドト云フ人ハモウ辭メテ居ラレテ、大正十二年以降ノ卒業生ガ勅任ニナツテ居ルヤウナ次第デ、司法官ノ待遇ハ非常ニ惡イヤウニ考ヘマス、終身官デアルカラ待遇ハ低クテモ宜ヒノダト云フヤウナ考ヘハ、根本的ナ間違ヒデアツテ、終身官デアラウガナカラウガ、年數カラ見テ其ノ人ノ其ノ位置ニ於テ待遇が適當ナリヤ否否ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、サウ考ヘルト、司法官ノ待遇ハ如何ニモ惡イヤウニ考ヘマス、此ノ待遇ヲ好クスルニハドウシタラ宜イカ、勿論豫算ヲ澤山取レバ結構デアルカラ、豫算モ出來ルダケ澤山取ツテ戴キタイガ、ソレト同時ニ私ノ申上ゲタイノハ、或ハ同僚諸君ト多少意見ガ違フカモ知レナイガ、定員増加ト云フコトヲヨク仰シヤイマス、司法省ノ政府委員モサウ仰シヤイマス、又手不足ト云フコトヲ無暗ニ仰シリガ、果シテ手不足カドウカ、尤モ是ハ其ノ人ノ個人的ノ位置ニモ依ルノデ、一概ニハ言ヘナイカモ知レマセヌガ、少クトモ判事ニ付テ申上げテモ、左様ニ忙シクテ、猫ノ手モ借リタイト云フヤウニハ私共ニハ見エナイ、先刻古島君モ仰シヤツタガ、十一時頃カラ法廷ガ開カレル、今時十一時頃カラ「オフィス」ガ開カレルト云フヤウナモノハアリマセヌ、工業會社ナドニ行ツテ御覽ナ

尙且裁判ノ統一ト云フコトガ保チ得ル方法
ガアレバ、ソレデ宜イデハナイデスカ

○大森政府委員 ソレデハ吾々ノ是マデヤ
ツテ居リマスル裁判慣習ト相當違ヒマスシ、
又サウ致シマスルト、人員ノ手不足ヲドレ
ジ」位現地デ裁判スル結果ニナルノデアル
カ、其ノ豫想ヲ先ヅ一點トシテ伺ヒマス
○松本政府委員 只今ノ御尋ネニ御答へ致

程埋メ得ルカト云フ點ニ付テ、吾々餘り確信
ハナノデアリマス、デアリマスルカラ、
只今申シマス通りニ、控訴審省略ト云フコ
トデ進ンダノデアリマス

○野村委員長

○服部(英)委員 私ハ總理大臣ガ御出席ニ
ナルト云フコトヲ聽キマシタカラ、簡単ニ
御尋ネシタイト思ツテ居リマシタガ、御出

席アリマセヌ、司法大臣ガ國務大臣トシテ
即答辯下ナノミ宜ソイ、思ソニ持チ構ヘテ

御名辨^{テナレ}ノ宣シノ意^{シテ}行^ス御^ス精^ハ
居リマシタガ、司法大臣モ御退席ニナリマ
シタカラ、此ノ際述べテ伺ヒマシテモ御答
ヘノ得ヤウガゴザイマセヌ、勿論堪能ナル

司法次官ノ御答ヘデ事ハ足リルト思ヒマス

ケレドモ、總理大臣ニ御尋ネスル國策ニ付
テ、質問ノ二案文書ニ及シニ付ニ相聲ア

元ノ質問ヲ大森次官ニ致シテモ治ニ相済
ヌト恐縮致シマス、明日總理大臣ガ御出席
ニナリマシタナラバ、質問ノ機會ヲ御與ヘ

下サルベキコトヲ保留致シマシテ、本日ハ
致シマセヌ

○野村委員長 原君

○原(惣)委員 私ハ簡単ニ領事裁判ニ付テ

外務大臣ガ御出席ニナレバ治外法權撤廢ノ

件ヤ、或ハ關東局ノ裁判トノ牽聯問題ナド

モ御尋ネシタイト思ヒマシタガ、オイデニ
ナラナイナカズベカラ、比フ湯呑具豐約ナ

方法ニ付テ條約局長ニ御尋不致シタイト思

ヒマス、此ノ法案ヲ制定スルニ付キマシテ、

此ノ法案ガ成立シタ暁ニ於テハ、領事裁判

○松本政委員　只今ノ御尋ネニ御答ヘ致シマス、大體只今ノ所領事裁判全體ヲ通じマシテ豫審事件ガ、年ニ依ツテ違ヒマスガ、六十件乃至七十件ダト思ヒマス、領事裁判デ扱ツテ居リマス公判ノ事件ガ、是モ年ニ依ツテ異ツテ居リマスガ、六百件位ニナツテ居リマス、約六百對六十ト云フコトニナリマス、一割位ガ本件ニ依リマシテ今マデ豫審デアツタモノガ公判ニナルグラウト思ヒマス

○原惣委員　此ノ法案制定ニ伴ヒ、外務省ハ豫算ノ上ニ於テドウ云フ御準備ヲサレテ居リマスカ

○松本政府委員　只今モ申上ゲマシタヤウニ、本法案ノ成立ニ依リマシテ從來豫審事件デアリマシタモノガ、所謂直公件ト云フコトニナルノデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ事務ノ繁閑ハ差當リ大シテ違ハナイコトデモアリマスルノデ、別ニ本法案ノ提出ニ伴ヒマシテ豫算ヲ要求致シマシタモノハナインデゴザイマス、御承知ノ通り領事裁判地域ノ中華民國ニ於キマシテハ、在留民ノ數が年々激増致シテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、一昨年カラ渡航者ノ制限ヲ致シマシタノデ、多少其ノ程度ハ増加ジテ参リマシタケレドモ、ソレデモ尙ホ昭和十五年度ニ於キマシテハ司法領事ノ數五十人デアリマシタモノヲ、十六年度ニ於キマシテハ十四人ニ致シマシタ、來年度ハ更ニ一人増員スルコトニ御協賛ヲ經タ次第

デゴザイマス、其ノ外司法領事ノ手足ニチ
ツテ働キマスル所謂司法書記生ヲ登用シテ
居リマスガ、ソレヲ六人増加致シマシタ、
手不足ニナリマシタ所ヘソレヲ補充致シマ
シテ、裁判ノ圓滑ヲ期シテ行キタイ、斯ウ
云方針デ居リマス

○原(惣)委員 實ハ從來支那事變前ニ於キ
マスル所ノ領事裁判ト云フモノハ、非常ナ
墮落シタ裁判デアリマシテ、因縁情實ニ絡
マレテ幾多ノ弊害ヲ生ンデ居ルノデアリマ
スガ、事變後日本人ノ増加ニ伴ウテ今度ノ
戰時立法トシテ豫審ヲ經ザルモノヲ現地デ
裁判スルト云フヤウナ情勢ニナツタノデア
リマスガ、此ノ時ニ於キマシテ申上ガルマ
デモナク、領事館ノ領事若シクハ總領事ノ
監督下ニ總テアルノデアリマスガ、ヤハリ
裁判ニ付テサウ云フ弊害ヲ極力打破シテ、
本當ノ裁判ノ獨立ト云フヤウナ意味ニ於テ
之ヲ根本的ニ考へテ居ルカドウカト云フコ
トガ一つ、ソレカラ成程十四人が十六人ニ
ナルト云ヒマスガ、之ニ伴フ所ノ人々ハ從
來南ノ方ニ居タ司法官デス、大體此ノ司法
官ハ司法省カラ借りテ來テ居ル筈デス、或
ル一定ノ年限ガ來タラ、是ハ取替ヘテ貰ハ
ナケレバ、ドウシテモ非常ナ弊風ガアルノ
デアリマスガ、之ニ付テ外務省ト司法省ト
トデ旨イコトガ出來ルモノダカラ申々歸ラ
ナイ、ズルヽベツタリアチラニ居テ色々
ナ弊害ガアル、此ノ點ニ付テ司法省モ協力
シテ、或ル一定ノ時期ガ來タラ裁判官ヲ本
省ニ歸シテ、新タナ人ヲ入レテ行クト云フ
ヤウナ點ニ付テ御考へガアルナラバ此ノ際

明カニシテ戴キタイト思ヒマス
○松本政府委員 只今ノ點ニ付キマシテハ
外務當局ト致シマシテモ、多少其ノ弊害ヲ
認メナインデモゴザイマセヌノデ、初メニ司
法省カラ司法領事ヲ採用致シマス場合ニ、
大體四年トカ五年トカ云フ任期ヲ限ツテ居
リマス、而モ最近ハ段々司法領事モ增加ノ
傾向ニアリマスルノデ、只今支那ニ現ニ在
勤致シテ居リマス司法領事ハ、過半數ハ新
シイ人ガ參ツテ居リマス、極ク古イ人ハ今
二、三人ニ過ギナイド思ヒマス、ソレ等ノ
人達モ段々任期ガ参リマスルニ從ヒマシテ
司法省ニ復歸スルトカ、或ハ極ク古イ司法
書記生カラ副領事ニナツタヤウナ人ハ、モ
ウソロ／＼隠退ノ時期ノ來テ居ル者モアリ
マスノデ、新陳代謝ハ十分行ハレルコトニ
ナルダラウト思ツテ居リマス、左様御御承
知ヲ願ヒマス

ニ、明日ノ午前十一時ニ開會致シマス、本
日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時十一分散會